**令和４年度12月**

**一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会　資料本体**

**日時：　令和4年12月３日（土）１５：００～１８：００**

**場所：　ハービスPLAZA　5階（8,9,10号）会議室**

**大阪市北区梅田2-5-25　　TEL06-6343-7350**

**令和４年9月OCOA理事会議事録の承認　　 　　　　　　中野理事**

資料1

**[協議事項]**

**１、研修会実施予定　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　堀口副会長**

**令和4年度大阪臨床整形外科医会スポーツ研修会（令和5年1月21日　WEB開催　配信場所：しんとう整形外科・リウマチクリニック）OCOA単独開始　16:00～**

講演Ⅰ

演題名：膝スポーツ傷害　臨床の最前線　-基本から最新の知見まで-　座長：岸本成人　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　スポーツ医学担当部長　北　圭介（きた　けいすけ）先生

日整会　N2（外傷性疾患（スポーツ障害を含む）、12（膝・足関節・足疾患）、S（スポーツ医）

日医　9（医療情報）、0（最新のトピックス・その他）

講演Ⅱ

演題名：肩関節のスポーツ障害・外傷　座長：堀口泰輔　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　整形外科医長

西本　竜史（にしもと　りゅうじ）先生

日整会　N9（肩甲帯・肩・肘関節疾患）、13（リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、S（スポーツ医）

日医　15（臨床問題の解決のプロセス）、61（関節痛）

講演Ⅲ

演題名：手・肘領域のスポーツ障害　座長：邉見俊一　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　整形外科　外傷外科担当部長　轉法輪　光（てんぽうりん　こう）先生

日整会　N9（肩甲帯・肩・肘関節疾患）、10（手関節・手疾患（外傷を含む））、S（スポーツ医）

日医　57（外傷）、73（慢性疾患・複合疾患の管理）

日本医師会認定健康スポーツ医3単位（講演Ⅰ、Ⅱ、Ⅲまとめて）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ　各々1単位）

日本リハビリテーション医学会（講演Ⅱ、Ⅲ　各々専門医1単位 認定臨床医10単位）

日本手外科学会（講演Ⅲ　Ⅰ単位）

**第357回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年2月18日　ハイブリッド開催　現地会場：大阪公立大学　75名）共催　科研製薬　16:00～**

講演Ⅰ：肩関節疾患の診断と治療　座長：河合大五郎　先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科　器官制御外科学（整形外科）佐原　亘（さはら　わたる）先生

日整会　N9（肩甲帯・肩・肘関節疾患）、13（リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、Re（運動器リハビリ医）

日医　61（関節痛）

講演Ⅱ：Hip-spine syndrome再考　人工股関節置換術後腰痛と脊柱骨盤矢状面アライメント座長：　小坂理也　先生

演者：大阪医科薬科大学　整形外科学教室　准講師　岡本　純典（おかもと　よしのり）先生

日整会　N7（脊椎・脊髄疾患）、11（骨盤・股関節疾患）、R（リウマチ医）

日医　60（腰痛）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ）（各々1単位）

日本リハビリテーション医学会（講演Ⅰ、Ⅱ　各々専門医1単位 認定臨床医10単位）

**大阪臨床整形外科医会　特別研修会（令和5年2月25日　対面開催　現地会場：グランフロント大阪北館タワーB　156名）共催　あゆみ製薬　16:00～**

講演Ⅰ

演題：関節リウマチ治療の現状・課題・そして展望　座長：　先生

演者：近畿大学病院　血液・膠原病内科　准教授　野﨑　祐史（のざき　ゆうじ）先生

日整会　N1（整形外科基礎科学）、6（リウマチ性疾患・感染症）、R（リウマチ医）

日医　9（医療情報）

講演Ⅱ：

演題：重粒子線治療　Update　座長：　先生

演者：公益財団法人　大阪国際がん治療財団　大阪重粒子線センター　放射線科　主任部長

鈴木　修（すずき　おさむ）　先生

日整会　N1（整形外科基礎科学）、5（骨・軟部腫瘍）

日医　0（最新のトピックス・その他）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ）（各々1単位）

日本リウマチ財団（講演Ⅰ、Ⅱ）（各々1単位）

**大阪臨床整形外科医会　特別研修会（令和5年3月11日　ハイブリッド開催　現地会場：　名）共催　田辺三菱製薬　16:00～**

講演Ⅰ

演題名：整形外科リウマチ医が知っておきたい注射治療～トリガーブロックからREBORN The TNFまで～　座長：白木隆士　先生

講師： 社会医療法人愛仁会井上病院 副院長　整形外科・リウマチ科　佐藤　宗彦　（さとう　もとひこ）先生

日整会　N6（リウマチ性疾患・感染症）、7（脊椎・脊髄疾患）、R（リウマチ医）

日医　60（腰痛）

講演Ⅱ

演題名：こんなに変わった骨・軟部腫瘍の診療　座長：貴島浩二　先生

演者： 福井大学学術研究院医学系部門医学領域器官制御医学講座整形外科学分野　教授

松峯　昭彦　（まつみね　あきひこ）先生

日整会　N1（整形外科基礎科学）、5（骨・軟部腫瘍）

日医　0（最新のトピックス・その他）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ）（各々1単位）

日本リウマチ財団（講演Ⅰ、Ⅱ）（各々1単位）

**大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年3月25日　WEB開催　配信場所：しんとう整形外科・リウマチクリニック）OCOA単独開始　16:00～**

講演Ⅰ

演題名：脊椎（ハイブリッド手術室を用いた脊椎手術関係）　座長：清水広太　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　整形外科　医長

池上　大督（いけがみ　だいすけ）先生

講演Ⅱ

演題名：股関節関係　座長：片岡　英一郎　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　整形外科医長

岡本恭典（おかもとやすのり）

講演Ⅲ

演題名：小児期に起こる整形外科的問題　-成長期スポーツ外傷・障害について-　座長：堀口　泰輔　先生

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　副院長　島田　幸造（しまだ　こうぞう）先生

**第358回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年4月15日　ハイブリッド開催　現地会場：ANAクラウンプラザホテル大阪　　名）共催　大正製薬　16:00～**

**第359回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年5月20日　対面開催　現地会場：エーザイ（株）大阪オフィス　梅田スカイビルタワーイースト33F　　名）共催　エーザイ　16:00～**

**日韓臨床整形外科研究会（令和5年6月3日）**

**大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年6月17日　WEB開催　配信場所：　　　　　）OCOA単独開始　16:00～**

講演Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

演題名：脊椎関係

講師：大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学　准教授　寺井　秀富（てらい　ひでとみ）先生

演題名：腫瘍関係

講師：大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学　准教授　星　学（ほし　まなぶ）先生

演題名：小児関係

講師：大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学　病院講師　中川　敬介（なかがわ　けいすけ）先生

**大阪臨床整形外科医会　特別研修会（令和5年7月1日　現地会場：石原ビル　　名）共催　ツムラ　16:00～**

講演Ⅰ

演題名：

講師：

講演Ⅱ

演題名：関節関係

講師：大阪公立大学大学院医学研究科整形外科　講師　箕田　行秀（みのだ　ゆきひで）先生

**第360回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年8月　　日　）共催　旭化成ファーマ**

**令和5年9月30日　東和薬品株式会社**

**２、会員動態　　 　　白木副会長**

**前回理事会****令和4年9/3　(正会員488名)　以降　新入会**　1名

　松尾　庸平　先生　令和4年9月3日　入会　正会員　泉佐野泉南

　　　　**前回理事会　令和4年9/3　　以降　退会**　3**名　(内正会員3名特別会員0名)**

大倉　克典　先生　令和4年9月15日　御逝去　正会員　吹田市

**朝子　晃憲　先生****令和4年10月25日　経済的理由、利点を感じない　正会員　豊中市**

**川島　啓誠　先生　令和4年11月24日　　その他　正会員　吹田市**

**令和4年11月24日現在**

　　　　**正会員　　　　　486名**

　　　　特別会員　　　　7名　(うち3名がJCOA名誉会員)

486+7の493名が最新名簿上の通しナンバーの最終番号

　　　　顧問(現役教授)　7名　(菅本一臣教授留任　令和4年3月31日定年退官)

　　　　特別顧問　　　　1名　　茂松　日医副会長(正会員)

　　　　名誉会員(元教授等)　9名　(菅本先生の正式決定は次年度総会の協議後に決定)

　　　　合計　　　　　　509名　(JCOA名誉会員が計5名)

　　　　**JCOA正会員は　OCOA正会員 486名　+　OCOA特別会員 7名**

**493名　　から　JCOA名誉会員5名　を除いた**

**488名**

**３、第11回大阪マラソン　　　　　　　　　　　　　　　　　　　荻野理事**

資料１，２，３，４

令和5年2月26日　日曜日開催

１）大阪マラソン開催概要

マラソンテーマ　みんなでかける虹。

スローガンである「みんなでかける虹。」は、
「虹をかける」の「架ける」と「走る」の「駆ける」を掛け合わせたものです。

　　主催　（公財）日本陸上競技連盟、大阪府、大阪市、（公財）大阪陸上競技協会

　共催　読売新聞社、毎日新聞社、NHK

後援　大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、（公社）関西経済連合会、大阪商工会議所、（一社）関西経済同友会、（公財）大阪観光局、（公財）大阪府スポーツ協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市スポーツ協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、（一財）大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、（社福）大阪市障害者福祉・スポーツ協会、（一社）大阪府医師会、（一社）大阪府病院協会、（公社）大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、（社福）読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、讀賣テレビ放送株式会社、株式会社毎日放送、スポーツニッポン新聞社

スポンサー　大阪市高速電気軌道株式会社、株式会社オプテージ、ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、日本コカ・コーラ株式会社、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、キョーワ株式会社、株式会社近畿日本ツーリスト関西、日本通運株式会社、岩谷産業株式会社、コスモ警備保障株式会社、丸一鋼管株式会社、日本航空株式会社

２）依頼文　　マラソン組織委員会から第11回大阪マラソン開催にかかる医師派遣の件につき、　今年度も、大阪臨床整形外科医会会長宛整形外科医５０名の派遣依頼（資料①）

３）出務医師表  ５０名の救護所出務医師　（資料②）

　　　　　　　新出務医12名

　中村昭文先生（奈良医大班）大江久之先生　中谷晃之先生　（山口班）　林卓夫先生　明石健一先生　葭井健男先生　水沢慶一先生　榎本誠先生　越宗勝先生（古瀬班）金子徳寿先生　葉山悦伸先生（岸本班）根木陽一郎先生（吉村班）

４）大阪マラソン関連予算案

支出

会場費(50名会場費正餐見積もり添付)　　　　　　　　　　　63万4150円　（資料③）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料④はブッフェスタイル見積）

交通費　地下鉄1日乗車券（600円)78名分（56名分繰り越し） 　　　　　1万3200円

各種製作費

Tシャツ2000円ブルゾン3500円(税抜き)12名（繰り越し8名分）　　　　　24200円

郵送費　レターパックプラス　520円×12（グッズ送付）　　　　　　　　　 6240円

　　　　　　120円×78名分　（ADカード及び乗車券送付）　　　　　　　　　 9360円

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　支出合計   　　　　68万7150円

※前回大会持ち越しメトロ乗車券56名分　Tシャツ8名分　ブルゾン8名分

　収入

打ち上げ会参加費（5000円）50名分　　　　　　　収入合計　　　　　　25万0000円

第11回大阪マラソン関連予算収支　　　　　　　　　　　　　　　　　予算▲43万7150円

 (第10回　　　　　　中止)

(第9回決算▲32万2060円)

　　　　　　　　　　　　　　　　　(第8回決算▲36万5780円)

5）令和5年大阪マラソン医療救護業務報告協議会（大阪マラソン打ち上げ会）の開催是非について

　現在ホテルニューオオタニ大阪　宴会会場　（マンハッタンクレイン）正餐或いはブッフェスタイルを予定しています（円卓10名使用　計7台）。例年35名から47名で開催されています。

宴会会場使用に関しての大阪府ガイドラインに沿った開催を考えています。ホテルの方針に従い会長副会長の判断にて　打ち上げ会のスタイルを決定したいと考えています。

6）マラソンランナー及び救護スタッフの感染対策

12月14日に第3回専門部会にて以下の内容が検討されます。

① ワクチン接種に関する規定

② 陰性確認の方法及び確認方法

③ 体調管理の確認方法（陸連が10月17日に変更されたものを準拠する）

④ 沿道応援の感染対策

**４、OCOA会報第４９号の広告協賛と趣意書　　　　　　　　　宮崎理事**

【OCOA会報広告収入】

平成２９年度OCOA会報（第４３号）

　　広告（23社）

7万円（２頁）×2社＋4万円（１頁）×9社＋2万５千円（半頁）×12社＝80万円

平成３０年度OCOA会報（第４４号）

　広告（24社）

7万円（２頁）×1社＋4万円（１頁）×11社＋2万５千円（半頁）×12社＝81万円

令和元年度OCOA会報（第４５号）

広告（27社）

7万円（２頁）×1社＋4万円（１頁）×９社＋2万５千円（半頁）×17社＝85万５千円

令和２年度OCOA会報（第４６号）

広告（24社）

7万円（２頁）×０社＋4万円（１頁）×10社＋2万５千円（半頁）×14社＝75万円

令和３年度OCOA会報（第４７号）

広告（２６社）

7万円（２頁）×０社＋4万円（１頁）×８社＋2万５千円（半頁）×１８社＝77万円

令和４年度OCOA会報（第48号）

広告（３２社）

7万円（２頁）×１社＋4万円（１頁）×９社＋2万５千円（半頁）×２２社＝９８万円

【課題】

OCOAからの出費

【対策】

1. 広告料の値上げ
2. 協賛広告を増やす　（早期に依頼する。医療業界以外は難しく検査、義士装具、

リハビリ機器、電子カルテの会社など各医療機関に出入りしている業者に広告　を募集する）

1. 印刷料の値下げ　（（株）ひらた　と交渉）

２０２３年　　月　吉日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 御中

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒530-0041

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋６-５-７　天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　　　　　　　Tel　０６-６３５１-１９９１　Fax　０６-４８０１-１２５６

趣意書

一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号の広告協賛についてのお願い

拝啓 貴社益々御清栄のことと御慶び申し上げます。

さて、当大阪臨床整形外科医会は発足以来、会員相互の親睦、融和と団結を図り、整形外科医療の発展・普及、さらに医療技術の適正評価の実現を図るため活動を続けて参りました。

　その活動の一環として年1回「大阪臨床整形外科医会会報」を発行して、府下約500名の会員相互の情報のネットワークとして居ります。

　つきましては、今回「大阪臨床整形外科医会会報第４９号」を発刊するにあたり、本会の趣旨に御賛同の上、何卒広告協賛の御援助を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

　記

一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号

発行部数　　　　１,０００部

広告料

B5　　　2頁　　　　\７０,０００円

B5　　　１頁　　 　\４０,０００円

　　　　　　　　　　　　　B5　　 　半頁　　 \２５,０００円

一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号広告掲載申込書

申込日　２０２３年　　　月　　　日

御社名

ご住所　〒

ご担当者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様

Tel　　　　　　　（　　　　　　　）　　　　　　　　　　Fax　　　　　　　（　　　　　　　　）

締切　　　　５月　　３１日

お申し込み内容　　（どちらかに　○印をしてください）

1.　B5　　　　2頁　　　\70,000円

2.　B5　　　　１頁　　　 \40,000円

3.　B5　　　　半頁　　 \25,000円

　　　　　　4．協賛しない

広告原稿（どちらかに　○印をしてください）

1. 版下同封
2. 後日持参又は送付

申込書並びに版下送付先

〒586-0007大阪府河内長野市松ヶ丘東町1805－1

みやざき整形外科　　宮崎　浩

Tel 072１-50-1336 　Fax 0721-50-1338

振込先

　　　金融機関　　　　大阪府医師信用組合　本店

　　　口座名　　　　　　大阪臨床整形外科医会

　　　口座番号　　 普通　　0１７２２２５

　　　振り込み予定日（どちらかに　○印をしてください）

　　　　月　　　日、　　発刊後

202３年　　月 吉日

第４９号　一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報　予算書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 金額 |
| 202３年7月2４日発行 | 発行部数　1,000部　 | 　　　\3,500,000 |
| 広告料 | B５　2頁　\70,000ｘ３社 | \２１0,000 |
|  | B５　1頁　\40,000ｘ２０社 | \800,000 |
|  | B5　半頁　\25,000ｘ６社 | \150,000 |
|  | 大阪臨床整形外科医会一般会計から | \2,340,000 |
| 会報発行による余剰金 |  | \0 |

　一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒530-００41

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋６-５-７　天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　　　　　　　Tel　０６-６３５１-１９９１　Fax　０６-４８０１-１２５６

２０２３年　　月　吉日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　御中

お礼状

一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号の広告協賛についての御礼

拝啓 貴社益々御清栄のことと御慶び申し上げます。

さて、今回の「一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号を発刊するにあたり、広告協賛の御援助を賜り誠にありがとうございました。お陰を持ちまして、一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号を発刊することが出来ました。

今後も会報発行を通じて、大阪臨床整形外科医会の会員、府下約500名の相互の親睦、融和と団結を図り、整形外科医療の発展・普及、さらに医療技術の適正評価の実現を図るため活動を続けて参ります。

尚、ご担当を交代されるときは申し送りのほどお願い致します。

今後ともご支援の継続をお願い致しますとともに、会員を代表して御礼申し上げます。

　 敬具

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒530-００41

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋６-５-７　天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　　　　　　　Tel　０６-６３５１-１９９１　Fax　０６-４８０１-１２５６

202３年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　御中

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒530-００41

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋６-５-７　天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　　　　　　　Tel　０６-６３５１-１９９１　Fax　０６-４８０１-１２５６

広告協賛金のご請求に関して

　拝啓　貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は「一般社団法人大阪臨床整形外科医会会報第４９号」の広告協賛にご援助賜り、誠にありがとうございます。広告代金の請求書をお送りいたします。

　つきましては、ご確認の上、下記の銀行口座にお振込みくださいますようお願い申し

上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 敬具

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

1. 同封書類　　　　　　　　請求書　1通

　　　　　　　　２．ご請求金額　　　　 　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　３．振込先

金融機関　　　　　大阪府医師信用組合　本店

口座名　　　　　　　大阪臨床整形外科医会

口座番号　　　　　　普通　　　０１７２２２５

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（お振込み手数料の負担をお願い致します）

**５、OCOA名簿（令和５年度版）の広告協賛と趣意書　　　　　宮崎理事**

【OCOA名簿広告収入】

平成２５年度OCOA名簿

　　広告（１６社）

２万円（１頁）×16社＝３２万円

平成２７年度OCOA名簿

　　広告（１６社）

２万円（１頁）×16社＝３２万円

平成２９年度OCOA名簿

　　広告（１５社）

２万円（１頁）×15社＝30万円

令和元年度OCOA名簿

　　広告（１６社）

２万円（１頁）×16社＝３２万円

平成３年度OCOA名簿

　　広告（１２社）

２万円（１頁）×１２社＝２４万円

【課題】

OCOAからの出費

【対策】

1. 広告料の値上げ
2. 協賛広告を増やす
3. 印刷料の値下げ

令和5年　月　吉日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　御中

　　　　　　　　　　　　　　　　 一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒530-0041

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋6-5-7 天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　　　　　　　 　 Tel 06-6351-1991　Fax 06-4801-1256

趣意書

　　一般社団法人大阪臨床整形外科医会会員名簿(令和5年度版)広告協賛のお願い

　　　拝啓　貴社、益々御清栄のことと御喜び申し上げます。

　　　さて、当大阪臨床整形外科医会は発足以来、会員相互の親睦、融和

　　と団結を図り、整形外科医療の発展・普及、更に医療技術の適正評価

　　の実現を図るため活動を続けて参りました。

　　　その活動の一環として2年に1回｢大阪臨床整形外科医会会員名簿｣

　　を発行して、会員相互の情報のネットワークとしております。

　　　つきましては、今回会員名簿(令和5年度版)を発刊するにあたり、

　　本会の趣旨に御賛同の上、何卒広告協賛の御援助を賜りますようお願い

　　申し上げます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　敬具

記

　　　　一般社団法人大阪臨床整形外科医会会員名簿 (令和5年度版)　予算書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 金額 |
| 令和5年7月　発刊 | 発行部数 1,300部＠252円　＋税 | \360,360 |
|  | 発送料 |
| 広告料 | A4版　１頁　\20,000×16社 | \320,000 |
|  | 大阪臨床整形外科医会 一般会計から | \40,360 |
| 名簿発行による余剰金 |  | \0 |

一般社団法人大阪臨床整形外科医会会員名簿(令和5年度版)広告掲載申込書

申込日　令和5年　 月 日

御社名

ご住所　〒

ご担当者

　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 様

ＴＥＬ ＦＡＸ

締切　5月31日

申込内容　 A4版1頁　20,000円

広告原稿　( いずれかに○印して下さい )

1. 版下同封

2. 後日持参又は送付

申込書並びに版下送付先

　　　　　〒599－8121　 大阪府堺市東区高松421－1

きしもと整形外科リハビリテーションクリニック

　　　　　　岸本　英樹

TEL　072-230-2585　FAX　072-230-2586

振込先

金融機関　　大阪府医師信用組合　本店

口 座 名　　大阪臨床整形外科医会

口座番号　　普通　172225

令和5年　月　吉日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　御中

お礼状

一般社団法人大阪臨床整形外科医会名簿（令和５年度版）の広告協賛についての御礼

拝啓 貴社益々御清栄のことと御慶び申し上げます。

さて、今回の「一般社団法人大阪臨床整形外科医会会員名簿（令和５年度版）を発刊するにあたり、広告協賛の御援助を賜り誠にありがとうございました。お陰を持ちまして、一般社団法人大阪臨床整形外科医会会員名簿（令和5年度版）を発刊することが出来ました。

今後も名簿発行を通じて、大阪臨床整形外科医会の会員、府下約500名の相互の親睦、融和と団結を図り、整形外科医療の発展・普及、さらに医療技術の適正評価の実現を図るため活動を続けて参ります。

尚、ご担当を交代されるときは申し送りのほどお願い致します。

今後ともご支援の継続をお願い致しますとともに、会員を代表して御礼申し上げます。

敬具

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　藤本　啓治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒547-0011

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区天神橋６-５-７　天六ビル３F

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人コスモス会　フジモト整形外科

　　　　　　 　　　　　　　　Tel 06-6351-1991　Fax 06-4801-1256

**６、ホームページ管理について　　　　　　　　　　　　　　宮口理事**

令和4年５月より新しいホームページが開設されホームページリニューアルWGも役目を終えましたが、今後のホームページのさらなる活用の拡大および管理が必要となるため運営管理をする委員会が必要と考えられる。

1. 新設委員会の承認

名称　ホームページ管理委員会

担当副会長（広報）　小林　正之

常任理事　木下　裕介　神藤　佳孝

委員長　宮口　正継

副委員長　明石　健一

委員　広報：調子　和則　学術：片岡　英一郎　リクルート：邉見　俊一　災害：宮崎　浩

サポーター　ローカルサポート社　牧元　光成氏

初代委員はリニューアルWGメンバーを中心に構成し、HPと関連性の高い広報、学術、リクルート、災害の委員から推挙を願いたい

業務として

1. ホームページ上のコンテンツの管理
2. ホームページの新しい活用法の模索
3. ホームページを通じての問い合わせメールへの対応
4. バナー広告の募集・管理
5. 当面は月１回程度　Zoomにてオンラインで会議を予定
6. 新しい活用法についての提案
	1. ホーム画面のお知らせ掲載期間

イベント関連はイベント終了まで　それ以外は6か月（内容により短縮も）

* 1. 新規入会者のクリニック紹介を3か月程度掲載（一般の皆様へのコーナー）
	2. 研修会申し込みをホームページ通じて行う（すでに運用開始）
	3. 理事会資料をホームページの役員コンテンツで管理（今回より試運転）
	4. バナー広告の設置
* 昨今の製薬会社ならびに医療機器大手企業は、コンプライアンスを理由に新規広告展開には非常に消極的であり、そのため対象の拡大が必要であると考え以下の適応を提案します
	+ 1. 医療および介護に何らかの形で携わる企業であること（規模は問わない）
		2. 病院・クリニック、介護・在宅施設あるいはその運営団体（OCOA会員かは問わない）
		3. かつ管理委員会にて適切と承認が得られたもの
* 現在3社の立候補

１）ローカルサポート社　２）株式会社（Kタスケル）https://ktasukeru.com/　３）アーキテクツ・スタジオ・ジャパン https://www.asj-net.com/

他　人工関節センターを擁する私立病院と調整中です

* 5000円/月ｘ12か月＝60000円/年

原則一括年払い。中途参入の場合月割りにて調整

* + - * ローカルサポート社に関しては広告主企業紹介などの貢献を加味して初年度のみ半額を検討

**７、OCOAレジメ委員会の開催について　　　　　　　　　　　　　中野理事**

**第47回　大阪臨床整形外科医会社員総会　のレジュメ作成**

レジメ委員会は

　　会長、副会長、常任理事、レジメ委員会、の先生方はもとより、

　　すべての先生方に御参加いただけます。

１、日程と、対面で行うかWEB（zoom？）での開催か？

　　　令和4年12月

25　26　27　28　29　30　31

日　月　火　水　木　金　土

２、対面で行う場合、いわゆる懇親会（忘年会）を行うか

３、例年通り、出務記録をご提出くださいますようにお願いいたします

　　まずは12月24日(土)までに

**８、令和5年度予算案について　　　 中谷副会長**

資料

**９、その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　藤本会長**

**[報告事項]**

**１、令和４年度OCOAセラピスト資格継続研修会１２月　　　山本（善）理事**

1. 開催概要

＊日時：令和4年10月30日（日）　12：00～16：30

＊場所：大阪府医師協同組合本部　８F大ホール

＊講師および 演題

大阪公立大　明石健一先生　上肢の日常診療とリハビリテーション

大阪医薬大　山本善哉　　　ロコモティブシンドローム・ロコモフレイルとは

関西医大　大窪　博先生 下肢の機能と転倒予防のリハビリについて

阪大　　　史　賢林先生　脊椎のリハビリテーション

＊日本運動器科学会　資格継続単位4単位

　　＊定員　90名のところ、参加者85名（会員施設73名、非会員施設12名）

＊出務医師　　（敬称略、順不同）

委員長（山本）、藤本会長、担当副会長（堀口）、会計担当（中谷）、

明石 健一 榎本 誠 　　大成 浩征 　荻野 晃

清水 広太　　　吉村 弘治

　　＊今回より申し込み手続きをオンラインで行い、郵送料を削減し、若干の経費削減はできた。

　　＊来年度（令和5年度）も同様の形式で令和5年10月29日（日）に開催予定。



**２、令和４年度第３回システム委員会　　　　8/31・WEB　　　宮崎理事**

日　時：令和4年8月31日（水）19：30～21：15

場　所：WEB会議

出席者：16名

【理事会審議付帯事項】

「一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」の増刷依頼が複数の会員から寄せられたため、

増刷の可否を理事会に諮ることとした。」

【協議・検討事項】

1. 令和4年度JCOAシンポジウム「接骨院、整骨院における慢性疾患への施術」
	1. テーマ

JCOAとしては整骨院という呼称は容認していないが、現在整骨院という呼び名も一般に使われているため、「接骨院（整骨院）における慢性疾患への施術」とした。

* 1. 基調講演1の演題名を、日整会教育研修単位取得のため「接骨院、整骨院における柔道整復施術の実態」に変更した。
	2. シンポジウムの「受領委任払いの取り扱いの影響」を「受領委任払いの影響」に、「医業類似行為に係る健康被害実態調査の実態」を「医業類似行為に係る健康被害調査の結果」に変更した。
	3. 基調講演の進行を北村拓也理事に、基調講演1の座長を相原忠彦アドバイザーに、基調講演2の座長を松本光司委員に、シンポジウムの進行を村井聰理事、吉田政史委員長とした。
	4. JCOA会員の参加者数を50名限定とした。
	5. 昼食はサンドウィッチで会費3000円とした。
	6. 接骨院における慢性疾患に係る医業類似行為の全国1週間アンケート調査（北村拓也理事）
* 問診表及び質問内容では、フリーワードをなるべく少なくするようにしているが、問1，2はFAXで、それ以外はWeb入力のため、全てWeb入力可能かIT戦略委員会に依頼中である。
* IT戦略委員会からの返事があり次第、MLで流すこととした。
	1. シンポジウム後のアンケートは従来通りの内容とした。
	2. 国会議員は誰を招待するか

委員会で候補をリストアップし、事務局に提出後案内状を送付することとした。

　　１０）ビデオ撮影

* 撮影は例年通り医療システム委員会元副委員長の加藤医師に依頼することとした。
* 撮影されたビデオは、JCOA理事会、合同委員会、参加できなかったJCOA会員の希望者等、限られた範囲での配布とする。保険者の希望者には、委員会で協議して決定することとした。
* 松本光司委員が演者に撮影等の了解を得ることとした。

　　１１）昼食会

　　　　参加は演者、理事長、副理事長、座長としたが、シンポジストも参加可能か事務局に確認することとした。

　　１２）配布資料

　　　　　一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ」の参加者への配布を検討することとした。

1. 理学療法士の超音波検査への対応
	1. 相原忠彦アドバイザーから、「現行の法律で超音波検査が許されている職種は医師、看護師、

准看護師、診療放射線技師、臨床検査技師であり、理学療法士は許されてはいない」と

問題提起があった。

２）理学療法士の超音波検査への対応について、様々な意見が出た。

　医師の指示の下、理学療法士が運動器リハビリテーションの現場で軟部組織の観察をして、運動器リハビリテーションの質を向上させようとしている現状がある。

理学療法士が運動器リハビリテーションの中で、超音波検査を行い所見を患者に説明する

ことは、診断に結び付く恐れがあり要注意である。

　診断は医師のみに許された業務であり、診療補助行為としての超音波検査も医師の指示

の下に行われなければならない。

　　　現状では理学療法士は超音波検査ができる資格となっておらず、日整会や整形外科超音波

学会への注意喚起が必要。

今後更に協議し、委員会決議の後理事会に報告することとした。

【報告事項】

1. 令和4年度第2回医療システム委員会議事録（6/29）
2. 令和4年度第3回JCOA理事会議事録（8/7）
3. 令和4年度第1回広報渉外委員会（7/23）

4．第23回柔道整復療養費検討専門委員会（7/14）

　　　松本光司委員が以下のことを報告した。

1. 復委任について
* 復委任団体の中には悪質な団体が存在しており、柔道整復療養費が私的に流用された事例もあり療養費が施術管理者に支払われないことがある。
* 施術管理者が審査支払機関に対して療養費の請求を行い審査支払機関の柔整審査会において審査して、保険者が支給決定を行った上で、審査支払機関が施術管理者に療養費の支払いを行う。
* 地方厚生局長と都道府県知事が施術管理者の指導、監査を行うことにより、請求代行業者による不正を防止し、療養費を施術管理者に確実に支払う
1. オンライン請求
* 審査支払機関の関与により請求、支払いルートを一本化し、オンライン請求の導入により、施術所や保険者の請求や支払い等の事務を効率化する。
* 施術管理者が外部委託できない業務を明確化する。
* 施術管理者が請求代行業務を委託する団体を厚労省に事前登録された団体に限定する。

**３、令和４年度第４回システム委員会　　　　11/10・WEB　　　　　宮崎理事**

日　時：令和4年11月10日（木）19：30～21：30

場　所：WEB会議

出席者：12名

【理事会審議付帯事項】

前回に引き続き、一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ」の増刷、配布希望者への案内について

理事会に上程する。

【協議・検討事項】

1. 令和4年度JCOAシンポジウム演題の内容について検討

1）シンポジウムの演題発表時間は10分前後にする。

2）「柔道整復師の業務範囲について」三輪雅彦

　柔道整復師の業務範囲、柔道整復療養費の支給対象、医行為などについて発表があった。

まとめを追加、「医業」とはの厚労省解釈の出典を明記する、などの助言あり。

（参考）

○医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について(通知) (平成17年7月26日) (医政発第0726005号) (各都道府県知事あて厚生労働省医政局長通知) 医師、歯科医師、看護師等の免許を有さない者による医業(歯科医業を含む。以下同じ。)は、医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条その他の関係法規によって禁止されている。ここにいう「医業」とは、当該行為を行うに当たり、医師の医学的判断及び技術をもってするのでなければ人体に危害を及ぼし、又は危害を及ぼすおそれのある行為(医行為)を、反復継続する意思をもって行うことであると解している。（以下略）

　3）「不正広告事例」前中孝文

柔道整復師法第６章雑則（広告の制限）、エバーノートの広告画像中の文章検索結果、割れ窓理論などについて発表があった。

整形外科医院の広告は会員ではないと思われる。特定できる名称は出さない。特色をもたせるようにまとめではなく宣誓としている、などの意見あり。

4）「受領委任払いの影響～なぜ柔整にかかるのか～」小野直司

償還払い、受領委任払い、保険医と非保険医は患者都合で選択できない、などについて

発表があった。

療養費支給申請書に施術ごとに費用を確認して署名をすることを言い続ける事が大事、白紙委任問題の柔整療養費検討専門委員会の語句の前に厚労省を追加する、あはきの受領委任などについての意見あり。

4）「接骨院における慢性疾患に係わる医業類似行為の全国１週間アンケート調査」川久保誠

JCOA会員への１週間アンケート結果（通院期間、外傷性、非外傷性疾患、罹患部位、診断名、健康保険証の使用、接骨院を利用した理由など）について発表があった。

　医療類似行為→医業類似行為に修正、アンケートでは演題名の接骨院に（整骨院）が入っているので読むときには付け加える、アンケート数が少なく1週間は１日でも可能ということにすれば増えたかもしれない、などの意見あり。

5）「医業類似行為に係わる健康被害実態調査の結果」宮崎　浩

５年間の施術による事故、非外傷性疾患に対する施術例、健康被害の症例などの発表があった。

施設を医療機関に修正、色合いが赤では見にくいので変更、症例で整形外科診療所で圧迫骨折と診断し、病院で病的骨折と診断したことを明記して分かりやすくする、などの助言あり。

　6）COIのスライドを基調講演1、2にも入れて頂くよう、松本アドバイザーから依頼する。

2. 令和4年度JCOAシンポジウム出席者について

1）出席者、国会議員は自見英子先生と星北斗先生（福島）で基調講演前にご挨拶を頂く。

2）現在のところ保険者24名、報道関係者5名、JCOA会員36名以上　合計70数名の予定

3）昼食会は理事長、副理事長、講師、シンポジスト、司会、座長など16名。

4）動画記録は加藤先生が困難な場合は吉田委員長が担当する。

5）システム委員会の委員も参加申込書を事務局に提出して頂きたい。

3．令和5年度、JCOA学術集会（千葉県）シンポジウムについて

医療システム委員会から参加する方向で考える。

テーマはMLなどで相談。

【報告事項】

1. 令和4年度第3回医療システム委員会議事録（8/31）

一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ」の増刷、JCOAシンポジウム、理学療法士の超音波検査への対応など。

1. 令和4年度第4回JCOA理事会議事録（8/7）

一般向け小冊子増刷は経理委員会を通してから12月理事会で審議されることになった。

3．　小冊子増刷見積もり

10000部、Ａ5サイズ　上質紙カラーで金額は269,500円　+　送料

1月か2月のJCOAニュースに送付希望の案内が同封される予定。

4．柔整療養費のオンライン請求について

柔整療養費も令和８年度までに実施される予定になっている。法律で委任が必要と決まっているので、

白紙委任は不可である。療養費検討専門委員会でもこの原則は堅持していく。

5.　資料

　　日本柔道整復師会の三橋裕之容疑者逮捕について

**４、第３回JCOADiTブロック実務連絡担当者会議　10/27・WEB　宮崎理事**

日　時：令和4年10月27日（木）20：30～22：00

場　所：WEB会議（ZOOMミーティング）

出席者：（副理事長）　松原三郎、五味渕聡志

（滋賀県）由良茂人　（京都府）立入久和　（大阪府）小林正之、宮崎　浩

（兵庫県）向井　宏　（奈良県）村井　聰　（和歌山県）栗原良次

（鳥取県）山本敦史　（島根県）中村慎一　（広島県）原田英男　（山口県）坂本　正

（徳島県）橘　敬三　（香川県）谷野善彦　（愛媛県）溜尾栄之　（高知県）廣瀬大祐

災害医療チーム検討委員会

（担当理事）　河村英徳、村井　聰　久賀養一郎

（委　　員）　八木知徳、濱邊卓也、神藤佳孝、荒木邦公、

溜尾栄之

１．開会の挨拶　松原三郎副理事長から挨拶があった。

２．JCOADiT実務連絡担当者会議の趣旨について　河村理事

３．自己紹介 各出席者の自己紹介を行なった。京都府から調整さんを用いた被害報告例の呈示があった。

【報告事項】

　１．近畿・中四国ブロックでの災害被害報告に関して

今回は、特に報告なし。災害発生時には軽微な被害、被害がなくてもMLで報告していく。

２．近畿・中四国ブロック災害対策委員会の活動報告各ブロック主催の災害関連研修会

などの広報： 11月に広島県で講演会を開催予定（講師　神藤委員）

３．令和3年度第2回JCOADiT委員会の報告(3/17)：濱邊副委員長

委員会決議事項：

1. 令和 4年度事業計画について

（１）災害医療チーム検討委員会の開催

（２）第 5 回 JCOA 災害医療チーム研修会

（３）第 35 回 JCOA 学術集会シンポジウム

 　　（４）JCOADiT 全国実務担当者会議（総会）

 　　（５）JCOADiT 各ブロック実務委員会

２．令和 2・3 年度理事長諮問事項に対する答申について

３．第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）について　令和 4 年 7 月 17 日

４．多発医療災害発生時の JCOA 災害医療チーム責任者について

５．第 5 回 JCOA 災害医療チーム研修会の開催形式について

６．JCOADiT 各ブロック実務委員会の日程について

７．JCOA研修会、実務連絡担当者会議のオンデマンド配信に関して

８．JCOADiTの活動記録をまとめる小冊子の作成について

９．本委員会議事録の作成担当について

委員会報告事項：

１．第 4 回JCOA災害医療チーム研修会について

２．第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議について

３．令和 4 年 3 月福島県沖を震源とする地震（令和 4 年 3 月 16 日発生）について

４. 令和4年度第1回JCOADiT委員会の報告（7/14）：濱邊副委員長

委員会決議事項：

１．自己紹介、委員長及び副委員長の選任について

２．第5回災害医療チーム研修会の開催について

３．第35回JCOA学術集会（徳島）シンポジウムについて

　　委員会報告事項：

１．令和4・5年度理事長諮問事項について

（１）近未来で発生しうる大災害の整理とそれぞれの対策の検討

（２）災害時の対応について、研修などの勉強会の開催

（３）災害時の必要機器や備品の検討

（４）JCOADiTを結成するためのメンバーの登録

（５）災害発生時の会員医療機関の経済的被害状況の調査及び対策の検討

（６）災害発生時の会員医療機関の早期発見のための連絡網の整備

２．第1回JCOADiTブロック実務委員会（北海道・東北）について

３．第2回JCOADiTブロック実務委員会（関東・中部）について

４．第95回日本整形外科学会学術総会について

５．昨今の多発する地震について　松原三郎副理事長　熊本地震について詳細な報告を行った。

６．災害実務連絡担当者への災害時の情報に関するアンケートについて

 ５. 令和4年度第1回JCOADiT実務連絡担当者会議（北海道・東北）の報告（6/2）：

八木委員

１．挨拶 五味渕聡志副理事長

２．JCOADiTブロック実務委員会の趣旨について

３．自己紹介

４．報告事項

（１）北海道・東北ブロックでの災害被害報告について

① 令和 03 年 02 月 福島県沖を震源とする地震

② 令和 03 年 03 月 宮城県沖を震源とする地震

③ 令和 03 年 09 月 16 日 石川県能登を震源とする地震

④ 令和 03 年 10 月 6 日 岩手県沖を震源とする地震

⑤ 令和 04 年 03 月 16 日 福島県沖を震源とする地震

⑥ 令和 04 年 03 月 18 日 岩手県沖を震源とする地震

（２）北海道・東北ブロック災害対策委員会の活動報告 　JCOADiTの小冊子について紹介

（３）令和 3 年度第 2 回災害医療チーム検討委員会報告

５．協議事項

（１）北海道・東北ブロック実務連絡担当者の相互交流方法に関して

（２）北海道・東北ブロックの実務連絡担当の責任者に関して

（３）事前打ち合わせのメンバーに関して　各ブロック責任者（司会進行）、河村担当理事、

神藤委員、荒木委員、他委員等とする

６．話題提供 　神藤佳孝委員は、阿倍野区防災フェアーについて説明

　６. 第35回JCOA学術集会シンポジウムの報告：河村担当理事

① シンポジウムのテーマ：「JCOADiTの活動を考える」

 ② 開催日：令和 4 年 7 月 17 日

③ 講演内容と登壇者

 　　・ 発災時の情報収集（山下剛司委員）

 ・ 先遣隊の役割（姫野信吉委員）

・ チーム編成と派遣の流れ（八木知徳委員）

・ 現地の活動とJMATとの連携（荒木邦公副委員長）

・ JCOA の本部との必要情報について（加藤裕之委員）

・ チーム撤収と現地COAとの連携（濱邊卓也委員）

7. 北海道臨床整形外科医会作成　JCOADiT検討委員会案内冊子の紹介

　　　JCOADiTの紹介、DCOA(北海道) 災害医療委員会での活動が紹介されている。

 北海道臨床整形外科医会学術講演会のお知らせ：2022年11月5日

ANAクラウンプラザホテル札幌

ハイブリッド形式　八木委員

特別講演Ⅰ 16：00～17：00 『災害時における避難所等で役立つ外傷対応基礎知識』

 ～整形外科と災害時医療等を考える～ 講 師 河村 英徳 先生

特別講演Ⅱ 17：10～18：10 『フレイルは予防できるか～漢方による介入の可能性～』

 講 師 松村 崇史 先生

8. 第5回災害医療チーム研修会の開催について：河村担当理事

（１）開 催 日：令和5年2月5日（日）10時〜13時

（２）開催場所：ステーションコンファレンス東京

（３）開催形式：WEB配信を配信を含むハイブリッド形式 総合司会：河村理事・神藤委員

開会挨拶：新井理事長（5分）

第一部　JCOADiT検討委員会の活動報告（30分）

 　　　講演１（15分）：災害時JCOADiTに何を求める？〜会員アンケート調査より〜 　　　　　　　（濱邊委員）

講演２（10分）：北海道臨床整形外科医会作成　JCOADiT検討委員会案内冊子の紹介（八木委員）

講演３（5分）：災害時の薬剤供給に関するローリングストック

　JR大阪鉄道病院の例（神藤委員）

第二部（60分） 災害時における避難所で役立つ外傷対応基礎知識（河村理事）

第三部（60分） 整形外科医でもできる災害時の緊急対応〜実技編〜（河村理事）

 　　　　　閉会挨拶：松原副理事長（5分）

ハイブリッド形式で実技訓練も実施するので医療機関のスタッフにもぜひ視聴してほしい。

９．JCOA災害実務連絡担当者MLでのアンケートの回答結果： 河村理事

EMIS（広域災害救急医療情報システム）、J-SPEED、CSCATTT、クロノロジー等の認知度の

低さを示すデータの報告があった。

【協議事項】

 1．近畿・中四国ブロック実務連絡担当者の相互交流方法に関して：神藤委員

研修会や勉強会など　ブロック内でのメーリングリストでの相互交流、災害講演会の案内や

現地参加、WEB参加などをすすめていく。

2．近畿・中四国ブロックの実務連絡担当　責任者に関して：神藤委員

神藤委員からの推薦で宮崎（大阪府）に決定

3．各ブロックJCOA会員に対する災害時の情報に関するアンケートについて：濱邊委員

災害時にJCOADiTに何を望むかなど、SCOA会員にアンケートを実施している。

静岡県で作成されたアンケートをもとにJCOA会員にも実施予定。

　大規模災害時には近隣からのブロック援助が重要。

JCOAからの金銭的援助についてはお見舞金があるが金額的には限られている。

過去には寄付金からも被災したJCOA会員に援助した。

以上の説明があった。

【その他】

話題提供：阿倍野区防災フェアーについて（神藤委員）

「地域で取り組む防災活動」のサンプル。防災リーダーを作って活動している。

区長や三師会などが出席して開催した。

大阪市阿倍野区：「2022 あべの防災フェア」特設ページ公開中

閉会挨拶　松原三郎、五味渕聡志　河村担当理事

**５、令和４年度第３回学術委員会　　　　　　　9/25・WEB　　堀口理事**

日　時：令和4年9月25日（日）10：00～12：00

場　所：テレビ会議

出席者：副理事長：長谷川利雄

担当理事：大山直樹、片山　元

委員長　：鶴上　浩

副委員長：堀口泰輔

委　　員：石毛徳之、深谷泰士、辻本和雄、遠藤健次

アドバイザー：吉村光生、原田　昭

欠席者：中條　悟

理事会審議付帯事項：

1. 今後のJCOA学術集会・研修会の開催地について

　令和10年の学術集会は中四国、研修会は関東を候補地とする。

学術集会：令和7年中部、令和8年近畿、令和9年東北、令和10年中四国

研修会　：令和7年中四国、令和8年九州、令和9年中部、令和10年関東

報告事項：

1．JCOA学術集会（徳島）報告

①参加人数804名（内会員360、非会員開業医24、企業70、非会員勤務医80、　メディカルスタッフ・その他190、日整会研修会員・学生13、招待者67）

②日整会取得教育研修単位1215単位であった。

③セッション別視聴者数とアンケート結果が報告された

④収支報告では概ね良好であり、JCOA負担金は返還される予定であることが報告された。

1. JCOA学術集会（千葉）準備状況報告

第36回日本臨床整形外科学会学術集会　Go to the Future from Chiba

①会期：2023年7月16日（日）～17日（月・祝）

②会場：幕張メッセ　国際会議場

③開催形式：現地開催予定

④テーマ：健康増進は運動器から　―エビデンスを求めて―

⑤プログラム

＜特別講演・基調講演＞

１）日本整形外科学会理事長　九州大学整形外科教授　　中島康晴先生

２）日本臨床整形外科学会理事長　新井貞男先生

３）千葉大学整形外科教授　大鳥精司先生

＜教育講演　他＞

教育講演4講演、招待講演1講演、文化講演1講演が予定されている。

＜シンポジウム＞

　10～11題（内JCOA委員会から5題程度）を予定している。

＜主　題＞

　　　　現在、15主題を予定している。特に「運動器リハの効果と検証」について4主題を予定している。

・その他に、共催セミナー、スポーツ医懇談会、産業医資格継続研修会、セラ　ピスト・ロコモコーディネーター資格取得研修会などを企画している。

・共催セミナーは25題を目標にしている。

・例年、スポーツ医懇談会の共催メーカーから今までより縮小してシンポジウムはなしで、ランチョンセミナーのみの申し出が出ている。

・会員以外のシンポジストならびに座長の依頼について質問があった。

・JCOA創立50周年記念式典を7月16日(土)夕方に予定している。

1. 学術集会の収益事業と消費税について

1）インボイス制度が令和5年10月より開始される。

2）学術集会及び研修会の収入におけるすべての消費税の50%をJCOAへ送金する。

3）学術集会及び研修会に係る見積書、請求書及び領収証について、表記方法を変更する。

　　4）JCOAを消費税の課税業者として登録する。

　　5）収益事業の範囲を拡大する（共催セミナーも加える）。

　　6）令和5年度からとし、第36回JCOA学術集会(千葉)及び第49回JCOA研修会(北海

道)から適用したい。

4．学術研究助成の研究報告・会計報告について

　（１）令和2年度学術研究助成について

　　１）第35回学術集会抄録に掲載、発表を確認した。

　　２）第35回学術集会発表演題論文として投稿し受理されたことを確認した。

　　３）研究報告書、会計報告書の提出されたものを確認した。

（２）令和3年度学術研究助成について

１）第35回学術集会抄録に掲載、発表を確認した。

　　２）研究報告書（一年次）の提出されたものを確認した。

5）令和４年度学術研究助成について報告

　　　令和４年度学術研究助成については、学術研究に伴う臨床研修倫理審査申請書が期限までに提出していただけなかったため、令和４年度第４回理事会にて「取り消し」を審議することになったことが報告された。

6）今後の予定

１）学術賞、学会功労賞、学術奨励賞の選定（応募締め切り１０月末）

２）日整会シンポジウム案（例年年末から年明けまでにJOAより依頼あり）

３）学術研究助成　選定（応募締め切り２月末）

４）合同プログラム委員会（令和５年４月上旬予定）

**６、第80回JCOA近畿ブロック会議議　　　　11/5・大阪　堀口副会長**

日時：11月5日土曜日　16:00～18:00

場所：ハービスPLAZA貸会議室5階会議室

当番世話人：奈良県臨床整形外科医会会長　墳本敏彦

会議出席者（敬称略）

大阪 藤本啓治 宮田重樹 山本善哉 吉村弘治 岸本成人 白木隆士 右近良治 神藤佳孝 黒田晃司 貴島浩二 長谷川利雄 堀口泰輔 増田博

滋賀　 麻生伸一 由良茂人 小林昌明 吉川玄逸 須津富鵬堀克弘

京都　 人見智 花房信哉 原浩史

和歌山　山東　秀樹 　小椋　廣次　夏見　和完 岩橋　俊幸　島　欽也

兵庫　 山下仁司 葛原　啓 辻本和雄 厚井　薫 吉田竹志

青木康夫 北野達郎 大谷卓弘 飯尾　純

奈良　 谷掛駿介 森田吉英 田中幸博 藤井載樹 村井　聰岡橋達晃　長谷隆生 原文彦 墳本敏彦

# 開会の辞　当番世話人挨拶　奈良県臨床整形外科医会　墳本敏彦

# 報告事項

## 理事会報告（大阪：貴島浩二）

### 令和4年度第2回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

日時：令和4年5月29日（日）14：00～15：00

場所：品川プリンスホテル

出席者：25名　欠席者0名

1. 理事長に新井貞夫理事、副理事長が奥村栄次郎理事、長谷川利雄理事、松原三郎理事、五味淵聡志理事が選任された。
2. 日本小児整形外科学会より、JPOAの乳児股関節脱臼二次検診協力医名簿施設リストをJCOAのホームページからリンクする事が承認された。

### 令和4年度第3回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

日時：令和4年8月7日（日）11：00～16：00

場所：ロイヤルパークホテル

出席者：25名　特別出席者：4名　欠席者：0名

1. 今年度の医療システム委員会主催のシンポジウムでの発表のために、JCOA会員の施設で、接骨院における慢性疾患に係わる医業類似行為の全国1週間アンケート調査が令和4年10月11日（火）～10月17日（月）の1週間実施されることが承認された。
2. 令和4年2月16日～3月16日に行われた高齢者の運動習慣アンケート調査結果の報告があり、10月の基礎学会で発表された。
3. 令和４年度診療報酬改定で新設された下肢創傷処置管理料を算定するための講習会が日本フットケア・足病医学会の主催で令和4年７月29日～令和5年３月31日にeラーニング形式で実施されることが報告された。

### 令和4年度第4回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

日時：令和4年10月23日（日）11：00～16：00

場所：ANAクラウンプラザホテル大阪

出席者：24名　特別出席者：5名　欠席者：1名

1. 令和５年度定時社員総会の開催日が令和５年５月28日に開催されることが承認された。
2. 令和4年度JCOA学術研究「検査機器を用いた脊柱側彎症検診の研究」に対して助成が決定していたが、臨床研究倫理審査申請書が未提出のため、取り消すことが承認された。
3. 会員の先生方より、令和4年度7月に会員に送付した「接骨院ってどんなところ」の追加領布のご要望がある為、医療システム委員会より増刷のための予算措置の要望があった。経理委員会で検討後、次回の理事会での再度審議することとなった。
4. 二次性骨折予防継続管理料の整形外科での施設届け出率が低いため、向上させる施策を講じる必要があり、アンケート調査とその結果から会員へ施設届勧奨を実施することが承認された。
5. 災害医療チーム検討委員会より、今後のJCOADiTの活動の方向性を探るために、会員のニーズを調査することを目的としたアンケートを行うことが承認された。
6. 医業経営委員会が開催されて令和６年度診療報酬改定及び介護報酬改定要望項目が決定された。
7. 最近増加している日整会の教育研修講演の申請演題の中に整形外科と関連性の低く、日整会の領域講習にそぐわない講演が多く含まれていることが判明し、今後の単位申請について注意して頂くようにお願いがあったことが報告された。

## 各委員会報告

### 令和4年度第1回学術委員会（大阪：堀口泰輔）

日時：令和4年4月10日（日）11：00～13：00

場所：テレビ会議

出席者：11名

1. 学術研究助成申請時にCOI未提出のケースがあり問題となったので、今後は学術研究助成申請時には必ずCOIを提出することになった。
2. 第34回学術集会（新潟）発表演題論文について不可が１論文、取り下げが２論文あった。

### 令和4年度第２回学術委員会（大阪：堀口泰輔）

日時：令和4年7月8日（金）20：00～22：00

場所：テレビ会議

出席者：12名

1. 理事長諮問事項の確認を行った。
2. 副委員長に堀口泰輔が選任された。

### 令和4年度第３回学術委員会（大阪：堀口泰輔）

日時：9月25日（日）10：00～12：00

場所：テレビ会議

出席者：11名　欠席者：1名

1. JCOA学術集会（徳島）報告があり、収支報告は概ね良好であった。
2. インボイス制度が令和５年10月より開始され、第37回JCOA学術集会（熊本）及び第49回JCOA研修会（北海道）から適用されることになった。

### 令和4年度　合同プログラム委員会（大阪：堀口泰輔）

日時：令和4年4月10日（日）9：00～11：00

場所：テレビ会議

出席者：11名　特別出席者：3名

1. 第35回JCOA学術集会（徳島）事務局より提案があり、シンポジウム演題を日臨整誌への投稿することになった。
2. 内容的な検討を必要とする演題は０であった。

### 令和4年度第1回利益相反委員会（大阪：堀口泰輔）

日時：令和4年7月13日（水）20：00～20：25

場所：テレビ会議

出席者：6名

1. 理事長諮問事項の確認を行った。

長谷川副理事長より追加発言

今までは利益相反自己申告方法が紙媒体であったが電子媒体に変わったということでかなり便利になった。

1. 委員長に堀口泰輔が選任された。

### 令和 4 年度第 1 回社会保険等検討委員会（大阪：神藤佳孝）

日時：令和4年7月6日（水）20：00～22：00

場所：テレビ会議

出席者：25名　欠席者：5名

1. 令和 4 年度診療報酬改定について、二次性骨折予防継続管理料、緊急整復加算について、算定要件、算定開始日時等について議論を行ったが、まだ不明な点も多く、今後、第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）での本委員会企画のシンポジウムや、令和 4 年度 JCOA 保険審査委員会議において詳細を検討することとなった。
2. 第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）シンポジウムは「令和 4 年度診療報酬改定と AI 審査への対応」についてというタイトルで行った。

### 令和 4 年度第 2 回社会保険等検討委員会（大阪：神藤佳孝）

日時：令和4年7月31日（日）11：00～15：00

場所：ステーションカンファレンス東京

出席者：24名　欠席者：5名

1. レセプト調査報告があり、無床診では 2020 年レセプト枚数は増えも回復したが、延べ人数は減少傾向にあった。有床診ではレセプト枚数、延べ人数、診療報酬額は回復した。病院はいずれも回復した。
2. 外保連からの報告で、今回の改定で733件の要望書が提出され175件に絞られた。
3. 令和６年度診療報酬改定の今後のスケジュールについては９月25日に医業経営委員会が開催されて要望項目が決められて準備が始まっている。
4. ９月25日に保険審査員会議が開催された。厚労省の保健局医療課主査の松木田瞭先生より講演がありジクトルテープに関して１回処方は63枚を限度とすると明言された。

兵庫・葛原先生より追加報告

メーカーはジクトルテープが鎮痛剤であり、湿布ではないと希望していたが厚労省からは63枚の制限対象になると返事があった。実際の審査の場では１日２枚の枚数がはっきりしているのでこのことに注意が必要であるでしょう。

奈良・藤井先生より質問

ジクトルテープの外用薬としての枚数制限が解除された時に、鎮痛剤としての

枚数制限はないのでしょうか。急性疾患の場合、鎮痛剤の処方日数の上限を奈良

県国保では、原則３０日としていますが、他府県はどうでしょうか。

大阪・神藤先生より大阪では２週間程度で多い場合は返戻して理由を聞いている。

兵庫・葛原先生より兵庫県では見たことはないが、適応病名があれば長期処方として査定することはない。

### 令和 4 年度第 1 回災害医療チーム検討委員会（大阪：神藤佳孝）

日時：令和4年7月14日（木）20：00～22：00

場所：テレビ会議

出席者：16名　欠席者：3名

1. 第 5 回災害医療チーム研修会を令和５年２月５日にステーションコンファレンス東京においてハイブリッド形式で行うことが決定された。
2. 第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）において「JCOA 災害医療チームの活動を考える」というタイトルでシンポジウムを行った。

### 令和4年度第1回JCOADiTブロック実務委員会（北海道・東北）（大阪：神藤佳孝）

日時：令和4年6月2日（木）20：00～21：30

場所：テレビ会議

出席者：20名

1. JCOADiTでは災害時のブロック支援が必要であるということを念頭に置いてブロック実務委員会を各地区で開催することになった。
2. 北海道・東北ブロックにおいて災害被害報告がなされた。
3. 北海道と東北においてはzoomなどを用いて相互交流をすることが決められた。

### 令和 4 年度第 2 回 JCOADiT ブロック実務委員会（関東・中部）（大阪：神藤佳孝）

日時：令和4年9月1日（木）20：00～22：00

場所：テレビ会議

出席者：30名

1. 関東・中部ブロックの災害に関しては、特に被害の報告はなかった。
2. 各地区主催の災害関連研修会等について相互交流をしていくことを決めた。

奈良・墳本先生より質問

災害対応について資金が必要ではないかと思うがどのように考えられているのか？

大阪・神藤先生より回答

準備金は４００万円を用意しているが実際に大規模災害では足りないし、いくら用意するか決めづらいし資金を蓄えるのも難しい。見舞金は決まっている。

大規模災害ではJCOA単独での対応は困難ではないかと考えている。

### 令和4年度第2回IT戦略委員会（大阪：白木隆士）

日時：令和4年10月3日（月）19：40～20：30

場所：テレビ会議

出席者：9名　欠席者：2名

1. Googleフォームを使って各委員会のアンケートの作成をしていく。
2. 各都道府県の臨床整形外科医会会報誌をJCOAの会員の部屋に掲載することについて各県代表者会議で提案することを検討しており、技術的な問題がないかとの問合せに対して、サーバーの使用容量は問題がないことを報告した。
3. ネット会員名簿への登録・変更作業は、事務局で行なってもらうことになった。
4. JCOAウェブサイトのトップページ画像について会員用メーリングリストを通じて公募を行っている。

### 令和4年度第1回医業経営委員会（奈良：村井聰）

日時：令和4年9月25日（日）12：00～16：00

場所：ステーションカンファレンス東京

出席者：17名　特別出席者：2名　欠席者：5名

1. 各委員会・WGが提案した項目に基づいて令和6年度診療報酬改定及び介護報酬改定に向けた要望項目を検討し、次のように決定した。
2. 外保連

＜日本臨床整形外科学会＞

【新設】

有床診療所地域包括ケア病床加算の新設

伝達麻酔：超音波ガイド下の大腿・膝窩麻酔

伝達麻酔：超音波ガイド下の腕神経叢麻酔

ロコモ、フレイル指導管理

エコー下関節内注射（股関節）

【改正】

二次性骨折予防管理料の対象疾患拡大

大関節テーピング

関節鏡視下靱帯断裂形成術（一期的両靱帯形成加算の増点）

皮膚欠損用創傷被覆材の適用期間拡大

創傷処理（手の指にかかるもの。筋肉に達しないもの）の改正

運動器リハビリテーション：急性増悪の定義の変更

運動器リハビリテーション：起算日の変更

消炎鎮痛等処置複数部位加算

【材料】

四肢関節固定帯（弾力包帯）

＜日本運動器科学会＞

　【新設】

　骨折観血的手術（透視下）大腿骨

　体外衝撃波疼痛治療術（拡散型）

　手術時医療材料安全廃棄料

　ギプス包帯固定管理

　小関節テーピング

　【改正】

　体外衝撃波疼痛治療術（集束型）の適応拡大

　超音波骨折治療法の適応拡大

　腱鞘内注射の増点

　トリガーポイント注射と神経ブロック併算定

　運動器リハビリテーション標準的算定期間除外対象疾患の改正

　運動器リハビリテーション：早期リハビリテーション加算算定疾患の改正

　運動器リハビリテーション：施設基準の機能訓練室面積基準の緩和

　運動器リハビリテーション：（Ⅰ）の点数の再評価

　【材料】

　プラスチックギプス

　凝固剤付血液廃液パック

内保連

　運動量増加機器加算の運動器リハビリテーションへの適応拡大

　二次性骨折予防継続管理料1の算定施設要件の緩和（有床診療所まで適用を拡大）

　骨粗鬆症指導料

### 令和4年度第1回自賠・労災委員会（奈良：村井聰）

日時：令和4年6月21日（火）20：00～22：00

場所：テレビ会議

出席者：11名　欠席者：3名

1. 委員長及び副委員長の選任を行った。
2. 令和4・5年度理事長諮問事項を確認し、協議を行った。
3. 第35回JCOA学術集会（徳島）において「交通事故診療を取り巻く諸問題の再確認」というタイトルでシンポジウムを行った。

「交通事故診療における公的保険の使用：健康保険使用の場合」

「交通事故診療における公的保険の使用：労災保険使用の場合（通勤災害

　　　　を中心に）」

「一括払い請求の問題点の対応：一括請求の中止、取り下げなど」

「健保一括の法的問題について」

1. 第95回日整会学術総会シンポジウムの報告があった。

### 令和4年度第2回「Q&A交通事故診療ハンドブック」編集WG（奈良：村井聰）

日時：令和4年7月24日（日）10：00～12：00

場所：ひびき綜合法律事務所

出席者：9名　欠席者：2名

1. 委員長の選任を行った。
2. 「Q&Aハンドブック交通事故診療」の第7版を令和7年に発行するように準備を進めることとした。
3. 交通事故診療コミック版Ⅱ」のシナリオ原案について検討を行った。

## 各種報告

### 小児運動器障害予防啓発動画作成について（京都：原浩史）

京都では運動器検診の普及と学童の運動器障害予防を目的として学童と保護者向けに障害予防啓発動画を作成した。QRコードからyoutubeを見ることができるようになっている。内容はけがをしたときの応急処置からけがをしたときに整形外科を受診するような勧告、運動器検診のチェックポイント、ストレッチ運動の紹介、けがをしたときに休む勇気を持つことなどである。今後は教育委員会とも相談して教育現場での活用なども検討している。

### 骨と関節の日の行事について

奈良県

10/9に市民公開講座「フレイルロコモを克服するためのロコモの取り組み」を県医師会で40名参加した。奈良医大の2名の演者の講演を行った

兵庫県

10/8に神戸新聞に1面広告を出した。対談形式の広告。3年前から市民公開講座をyoutubeで10月初めから12月末まで見られるように公開している。

滋賀県

10/15に市民公開講座「フレイルロコモと脊椎疾患」を行った。新聞広告で案内して医療相談も行った。そのあと医師向けに学術講演を行った。

京都府

10/15にJCOA骨関節フォーラム京都という医師向けの講演会を行った。令和2年から市民公開講座をやめて、医師向けにロコモについて講演会を行っている。

和歌山県　市民公開講座を中止した。

大阪府

産経新聞とタイアップして11/19にロコモフレイルを知ろうという市民公開講座を開催予定、600名の会場を確保している。

奈良・墳本先生　大阪のように大人数を集める手段はどうしていますか？

長谷川先生　新聞とタイアップして広告を出すと集まります。

奈良・村井　神戸のyoutubeによる市民公開講座の費用はいくらくらいかかるのか？

兵庫・山下先生　以前市民公開講座をしていた時に共催メーカーが出してもらっていた分をそのまま引き継いでもらったので会として負担はしていない。

兵庫・葛原先生　徳島学会は参加者が半分くらいだったが収支がプラスになっているのはなぜか？

大阪・長谷川先生　共催セミナーが収入の割合と多く、参加者収入は割合として多くないので共催セミナーを開催してもらえれば黒字にできている。

大阪・宮田先生

今年4月に日本医学会連合でフレイルロコモ宣言が出された。よくまとまっているのでネットで確認をしてください。

2020年よりフレイル検診が始まっておりロコトレなどの運動指導で整形外科がかかわるチャンスなので各府県でフレイルの基準がどうなっているのか、またフレイル対策をどうするのかという点を確認し積極的にかかわっていくことが望ましい。

奈良・田中先生　フレイルの概念は認知症も含まれるのか？

大阪・宮田先生　フレイルは身体的フレイル、精神的フレイル、社会的フレイルのまとまった概念である。身体的フレイルはロコモに近いもので行政としても扱いやすく取り組みやすいと考えている。

大阪・長谷川先生　日整会でもロコモにこだわらず、ロコモフレイルとして行政とタイアップして検診に整形外科として関与していく方針になっている。

奈良・墳本先生　ロコモの認知度が低いのではないか？

大阪・長谷川先生　ロコモの認知度は40％で低くない。若年層に対して認知度が低いので子供ロコモなど広げていこうと考えている。目標80％は高すぎる。

奈良・田中先生　今年の診療報酬改定で新設された下肢創傷処置はどのような創傷に対して算定していいものか？

大阪・神藤先生　当初は糖尿病性皮膚潰瘍、閉塞性動脈硬化症に伴う皮膚潰瘍をイメージしていたが青本には記載はない。理想的には管理料とセットで算定するものであろうと思われる。

兵庫・葛原先生　今のところ青本の中に適応疾患が書かれていないのが問題である。eラーニングでは整形外科で扱えないようなレベルの潰瘍だが、現状では算定しても査定される理由がない。

奈良・田中先生　二次性骨折予防継続管理料について、奈良県では予防継続管理料1を算定して開業医に紹介してくれる病院があまりないが他の県はいかがか？

大阪・神藤先生　大阪で継続管理料3を算定している開業医が10％台と少ないという現状である。病院も経営の観点から連携パスを認めないところもあるときいている。本来は紹介してきた開業医に逆紹介するのが原則と考える。

兵庫・葛原先生　どこが予防継続管理料1を取っているのかわからないのが問題である。

兵庫・山下先生　地域差があり病院の少ない地域では病院からリハビリ病院、開業医への流れができているが、大都市ではあまり連携が取れていない。1をとる病院が核となり講習会などを開いて連携パスを構築していくのが大切ではないか。

滋賀・由良先生　滋賀県国保の審査をしているがほとんどが1を取っている病院が算定しており医師会が連携を探っている。

大阪・神藤先生　骨粗鬆症学会としては病院と開業医の連携を目指しているので、現状の3を取っている開業医が少ないことは問題であるので今後は増やしていくことをJCOAとしても考えている。

兵庫・山下先生　各地で開催される学術講演会に対して共催メーカーからの規制が厳しくなっている現状について、講師のスライド原稿のチェックは以前から行われているが、最近講演要旨の会報に出す原稿をチェックするという事案があった。他府県ではどうなのか？

大阪・長谷川先生　雑誌編集は編集委員会が扱う権限を持っているであってメーカーが入る余地はないはずである。

京都・原先生　京都では市民公開講座を中止した原因の一つは演者に対するメーカーのチェックが厳しかったので演者が嫌がったという経緯がある。

奈良・森田先生　JCOA会員のリクルート委員をしていますが勧誘にあたって、JCOAがどういう活動をしているかということを知ってもらえるようなパンフレットのようなものを作成してはいかがか？

大阪・長谷川先生　検討します。

## 協議事項

### 次回ブロック会議開催について

大阪担当

令和5年4月8日（土）

ハービスプラザ会議室

懇親会はリッツカールトン大阪予定

### 次々回ブロック会議について

滋賀担当

令和5年11月11日（土）

ハービスプラザ会議室で予定

### 2024年JCOA研修会（京都）について

2024年10月12日（土）から10月14日（月）

京都ホテルオークラで予定

# 閉会の辞　奈良県　墳本敏彦

以　上

（文責：　村井　聰）

**７、第63回大阪整形外科症例検討会世話人会　　9/24・大阪　山口理事**

資料

開催日：2022年9月24日（土）14：20～14：50

ご出席

日高 典昭先生、乾 健太郎先生、岸本 成人先生、今村 史明先生、渋谷 高明先生

小坂 理也先生、大野 一幸先生、山口 眞一先生、三木 秀宣先生、古瀬 洋一先生

劉 長勱先生、藤尾 圭史先生（WEB）、今村 史明先生（WEB）

旭化成ファーマ株式会社、アステラス製薬株式会社

ご欠席

神藤佳孝先生、中島弘司先生、鈴木隆先生、大島和也先生、田村 治郎先生

1. 新世話人について

北野病院　田村 治郎先生の加入が正式に決定

※田村先生ご欠席のため、大野先生より田村先生の世話人会加入についてご紹介いただき

加入が正式に決定。

1. 次回以降の当番世話人について

第62回世話人会にて決定した当番世話人表（別表１）に基づき

第64回当番世話人は市立総合医療センター　日高先生、

第65回当番世話人は済生会中津病院　乾先生に決定。

それ以降に関しても当番世話人表（別表１）に基づき、当番世話人を決定する

1. 次回一般演題の座長について

次回当番世話人の日高先生と旭化成ファーマ株式会社との相談、これまでの実施状況（別表2）から以下の先生を候補として提案された。

病院医師‐おおさかグローバル整形外科病院　藤尾先生 または 大手前病院　中島先生

開業医師‐岸本整形外科 岸本先生 または しんとう整形外科・リウマチクリニック 神藤先生

結果：病院医師-大手前病院　中島先生（仮）、開業医師‐岸本整形外科　岸本先生に次回座長を務めていただくことに決定。

背景：次回候補日に『中部日本手外科研究会』が重なっており、藤尾先生は参加ができないため、中島先生に座長を務めていただくに決定。また、現地にて日高先生より岸本先生に座長の依頼があり、岸本先生がご了承。

④‐1．次回候補日について

2023年1月28日（土）に決定。

従来、２～3月に実施していたが、次回の特別講演演者の北九州総合病院 福田先生のご都合が合わず、上記1日程に決定。OCOA関連の講演会が予定されていないことは確認済み。

④‐2．次回のテーマの選定、開催形式について

テーマ：骨粗鬆症関連

演者：北九州総合病院　福田文雄先生に決定。

開催形式：新型コロナウイルスの状況を鑑みて決定する。（集合 or WEB or ハイブリッド）

⑤－1.今後の日整会単位取得について

下記の理由より、現地参加者のみ取得できる形式での運用とすることに決定。

理由

・第62回運営時に会員番号の記載の上事前登録の形式をとり、運用を行ったが複数人の会員番号の誤記入があった。会の開催後、日整会への2週間以内の開催報告が必要であり、ご記入の発覚から正しい会員番号の把握まで時間の余裕がない。また、半年後などに本会での誤記入を理由に単位取得ができていなかったことが発覚するケースが想定される。

本会での誤記入を理由に年度に必要な単位が揃わなかった際に大阪整形外科症例検討会、共催メーカーともに責任をとることはできない。

・当日のWEBカメラONの確認業務や開催後の参加者リストの取り纏め業務が煩雑である。昨今の共催メーカーの規則より下記業務の手伝いいただけない。特に②の業務の際に会員番号を誤って転記してしまうリスクもある。①当日のWEBカメラONの確認、②開催報告時に必要な日整会指定のCSVフォームへの参加者情報の転記

⑤‐2．日整会単位の受付業務に関わる人員の確保と謝礼について

人員の確保について

原則、当番世話人の施設より人員を選出いただくことに決定。また、開業医師が当番世話人で人員の選出が難しい場合は、一般演題の病院所属の座長の施設にご協力いただき人員を選出いただく。業務としては、日整会の受付業務、受付カードリーダー・PCの設定等を実施。

背景：出欠確認に関わる労務の提供は、共催メーカーの規定により認められておらず、大阪整形外科検討症例会内での人員の確保が必要をなったため。

また、山口先生より開業医師が当番世話人の際には人員の確保が難しいため、一般演題の座長を務められる病院施設から人員を確保のご協力をお願いしたいとご意見があった。

受付業務の謝礼について

日整会の受講料または参加費から捻出し、5000円分のクオカードをお渡しする。

背景：大野先生より「骨折治療を考える会」では受付業務を引き受けてくださった若手Drにはクオカード5000円分を謝礼としてお渡しすることで対応していることをご紹介いただく。日整会の単位を希望する参加者が5人いれば対応は可能。今後、日整会単位を申請しない場合は、会費を500円～1000円徴収するなど、フレキシブルに対応すればいいのではないかと上田先生からご提案があった。

⑥アステラス製薬との共催の終了・今後の運営について

本会をもってアステラス製薬株式会社との共催が終了することに決定。

背景：製薬協、医療用医薬品製造販売業公正取引協議会、アステラス製薬株式会社の研究会の共催の運用規定の変更等を理由に本研究会との共催の継続が困難となった。

今後の継続に向けて、大野先生より下記の3つの提案をいただいた。

提案１：年1回の開催とする

提案２：年2回の開催は継続し、夏は大阪整形外科症例検討会単独

冬はメーカー共催で実施する

提案３：他の共催メーカーを探す

結論

どの案にするかは決定しなかった。

次回までに共催できるメーカーがないか探すとともに大阪市立総合医療センター等の病院講堂にて開催できないかなどを確認。

各先生方のご発言・ご提案

大野先生：旭化成ファーマ株式会社に年2回の共催の可否を確認。

⇒旭化成ファーマ三井所長：本社とご相談させていただくが、現段階でお約束できるのは年1回であるとの回答。

大野先生：山口先生にOCOAでの共催の現状について確認

⇒山口先生：OCOAでも3社の共催メーカーの終了があり、他のメーカーを探すことは難しいのではないかとの回答。

大野先生：メーカーの共催が難しい場合は、大阪整形外科症例検討会だけでの運営も考えていかなければならない。特別講演の謝金等の問題も考えなければいけない。会場に関しては堺市立総合医療センターの会議室等の使用も考えたがアクセスが悪いので、日高先生に市内にありアクセスのよい大阪市立総合医療センターの講堂などの使用ができないかご質問。

⇒メーカー共催では使用できない等のルールがあったと思うので、確認するとの回答

上田先生：以前と比べると、WEB等の発達により若手の先生を始めとした先生方が症例発表・手術手技を聞ける機会が増えている。また、日整会の単位についてもWEB参加で取得できるようになり、本会以外でも多くの会で取得できる機会が増えている。日整会の単位取得により参加者が増えるというわけでもなくなってきたので、日整会単位も必ず申請しなくても良いのではないか。製薬メーカーの規定の変化等により、症例発表を主とする研究会の開催については、メーカーの共催を頼りに運営するのは難しくなっている。今後は、昔のように医師のみで講堂で運営していたような形に戻っていくのではないかと考えている。よって、まずは年1回での開催または定期的ではなく開催すべき議題があった際にフレキシブルに開催するような形式に変化していくのがよいのではないかとご提案があった。

⇒大野先生：複数の施設の医師が集まって症例について議論する本会の意義・重要性をご発言いただいた。

⑦第62回開催分会計報告

収入・支出ともになかったため、報告事項はなし。

その他の議論・記載事項

1．今後の会計について

大野先生：これまでは、会費や日整会の受講料を徴収した際は、会場費などに充てて、繰越金をもたないようにしていた。今後、日整会の受付業務の謝礼の捻出やメーカー共催が難しくなった際の継続に向けてどうしていくべきか。乾先生も他の会を運営されていると思いますがどうしたらいいと思いますか？

乾先生：口座を開設し、明朗会計をするのが良いと思う。一方で、自身でやっている会で口座をもって運営しているが、管理が煩雑で非常に大変。

上田先生：口座で管理するのが一番良いが、煩雑さと本会がいつまで継続できるのかを考えるといまから新たに口座を開設して、運用するのがいいのかは判断が難しい。

大野先生：今回の日整会の受講料はとりあえず私が管理しておく

2．会費の徴収方法・対象について

下記の議論により、原則現地参加者より500～1000円徴収する方向。

大野先生：今後の運営費を参加費や日整会の受講料によって賄う必要性が高まってくる。一方で開催形式がハイブリッドであり、現地参加者のみ参加費を徴収すると不公平感もあると思うがどうしていくべきか？

岸本先生：OCOAで、WEB参加者からも徴収したりしているが、事務員の方の労働の負担を見ていると非常に大変でかわいそう。WEB参加者からの徴収・管理は非常に難しいと思う。

上田先生：それを考えると、現地の参加者から500～1000円徴収する形がいいのではないか。

3．今回の日整会の受講料について

15人の先生が日整会の単位を希望し、15000円徴収。

会終了後に15000円を大野先生、山口先生、アステラス製薬 宮本マネージャー、運営担当 江渕、受付担当　五十嵐とともに確認し、会場にて大野先生お渡し。

4.症例の応募について

大野先生より世話人の先生方に向けて、今回も含め6演題募集するのに苦労しているため、ご協力いただけるようご依頼いただいた。

別表１. 第62回世話人会にて決定した当番世話人表



別表２．2017年以降の一般演題　座長について



**８、第2回IT戦略委員会　　　　　　　　　　10/3：WEB　白木副会長**

日　時：令和4年10月3日（月）19：40～20：30

場　所：ウェブ会議

出席者：副理事長　松原三郎

担当理事　鮫島弘武、照屋　徹

委　　員　黒澤宏行、宮川一郎、中村眞二、田中章善、白木隆士

　　　　アドバイザー　西山　徹

欠席者：アドバイザー　本田　忠、長島公之

（敬称略）

１．理事会審議事項：

1）Googleフォームの有料版（JCOA管理）の購入について
2）過去メーリングリストのアーカイブ化について

２．委員会決議事項：

1）文書引用依頼や問合せについて

（1）立命館大学　保健センター（BKC）の石川宜子様

JCOAホームページに記載されている「肩こり」についての文章を教職員健診チラシ内に出すことの依頼
→委員会内で確認し了承とした。

（2）徳島大学　横山賢二先生

外側上顆炎のイラスト（女性が肘を痛がっているイラスト）を第4回日本運動器SHOCKWAVE研究会学術集会での使用許諾

→出典の明記をお願いして承諾とした。

（3）廣島クリニック整形外科　戸田克広　先生
　JCOAホームページに記載されている「肘内障」についての問合せ
　文面では脱臼（亜脱臼）はないとしているが、挿絵では亜脱臼が生じているので、どちらが正しいのか？統一した方が良いのではないか？
　→文面を直すことも挿絵を作り直すのも困難なので、挿絵に注釈を入れて対応することとした。

（4）愛媛県臨床整形外科医会会長の西本章先生

各都道府県の臨床整形外科医会会報誌をJCOAの会員の部屋に掲載することについて各県代表者会議で提案することを検討しており、技術的な問題がないかとの問合せ

→現在のサクラサーバーの使用容量は、157GB /900GBであり、十分に容量があることを確認し、容量的な問題がないことを報告した。

ただし、会報誌の容量制限や個人情報（名簿）等は、各整形外科医会で編集・削除をお願いする必要がある。

2）ネット会員名簿と会員名簿（PDF版）の「会員の部屋」からの削除について

（1）黒澤宏行副委員長により、掲載場所を次のURLに変更され、ログイン時のID・Pass認証（俗にベーシック認証という。）への対応が完了している

（2）同様にJCOAウェブサイトの「会員の部屋」にも「事務局にお問合せください」と記載した。

（3）ネット会員名簿への登録・変更作業は、事務局で行なってもらうことになった。

（4）マニュアルについては黒澤宏行副委員長より事務局へ提出済みとなっている。

　参考URL：会員（ネット会員）名簿URL

　<http://filemaker-sv.jcoa.gr.jp/fmi/webd/jcoamember>

3）JCOAウェブサイトのトップページ画像について

（1）松原三郎副理事長が会員用メーリングリストを通じて公募を行い、現在は、
みなみ整形外科クリニックの三浦由太先生のキリマンジャロと富士山と北岳を公開している。

（2）５枚まで画像は表示できるので、3ヶ月〜半年を目安に徐々に増やし、古いものから削除する方針とした。

（3）現在医療機関と投稿者名を表示しているが、匿名希望もありうる。投稿時に名前が記載されている場合は原則そのまま投稿する予定だが、匿名を希望する場合は名前を伏せる対応をすることを公募の際に記載する。

4）メーリングリストにおける添付文章の取り決めについて

会員用メーリングリスト「J-mem」及び「J-let」は、原則として添付ファイルを

禁止とすることとして毎年末に整理することとした。

なお、本件は西山　徹アドバイザーから会員用MLで通知することした。

　　参考URL：NextCloudのアップロード方法
<http://jcoa.sakura.ne.jp/nextcloud-scr/index.php/s/e26PLdnfKRtyyqB>

5）過去のメーリングリスト（ML）のアーカイブ化について
過去のメーリングリストは、西山　徹アドバイザーにより閲覧（アーカイブ化）できるようになっているが、文字化け等が発生している。
検索機能や、文字化け解消など、どこまで対応するか？

J-MENやJ-LETなどだけでなく、各委員会のMLもあり、どこまでのアーカイブ化
するか？アクセス権限をどうするか？などの検討を理事会で審議・決定してもらいたい。有償になるため、理事会へ上程（審議事項）することとした。

　　参考URL：現在の過去MLのアーカイブ

<https://www.jcoa.gr.jp/members/mail_log/member/index.html>

6）ウェブアンケート（Googleフォーム）について

（1）ウェブアンケートの作成にあたり、黒澤宏行副委員長の個人のグーグルアカウントを利用しているので、今後は本委員会共有のアカウントを作成することが望ましい。

（2）無料のGoogleアカウントでもフォームの作成は可能だが、有料版がありトラブル時にGoogleへの問い合わせが可能になる。

有料版は、月額680円程度であるので、理事会へ上程（審議事項）することとした。

３. 委員会報告事項：

1)黒澤先生
令和4年８月社保委員会から令和4年度JCOA保険審査委員会議に伴う事前アンケートをGoogle ファームで作成した。

令和4年９月医療システム委員会から接骨院における慢性疾患に係わる医業類似行為の アンケート調査をGoogle ファームで作成した。

４. JCOAホームページだよりの執筆について

JCOAニュースの連載原稿の執筆順については次のとおり。

　　第181号　2022.01　宮川一郎委員

　　第182号　2022.03　田中章善委員

　　第183号　2022.05　黒澤宏行委員

　　第184号　2022.07　松原三郎副理事長

　　第185号　2022.09　西山　徹アドバイザー

　　第186号　2022.11　鮫島弘武理事

　　第187号　2022.12　白木隆士委員

第188号　2023.01　照屋　徹理事

　　第189号　2023.03　中村眞二委員

　　（以後、上記の繰り返し）

５. 本委員会日程について

令和4年度は、次のとおり仮決定した。

（１）第1回：令和4年7月11日（月）ウェブ会議

（２）第2回：令和4年10月3日（月）　ウェブ会議

（３）第3回：令和5年3月6日月曜日　ウェブ会議の予定（未定）

（2年に1度は対面形式の委員会開催であるが、当面は新型コロナウイルス感染症が5類にランクダウンされてから開催を計画する。）

６．本委員会の役割分担について

　　　　　　　　　　　　責任者　　　　　　　副責任者

（１）委員長 宮川一郎委員長　　黒澤宏行副委員長、田中章善副委員長

（２）ML登録 田中章善副委員長　　黒澤宏行副委員長、

西山　徹アドバイザー

（３）視点 白木隆士委員　　　　中村眞二委員

（４）HP管理 宮川一郎委員長　　　黒澤宏行副委員長、

長島公之アドバイザー

（５）仮想クリニック 白木隆士委員　　　　中村眞二委員

（６）アンケート　 　黒澤宏行副委員長　　宮川一郎委員長、

西山　徹アドバイザー

**９、大阪臨床整形外科医会療法士会　第61回　勉強会**

**11/20・大阪　白木副会長**

資料１１

事業内容報告書

（公）大阪臨床整形外科医会　　御中

報告日：令和4年11月21日

下記の通り事業を行いましたので報告致します。

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和4年11月20日（日）10:00～12:30 |
| 事業名（テーマ） | 大阪臨床整形外科医会療法士会　第61回　勉強会『足部の機能解剖』～距骨・距骨下関節を中心に～ |
| 講師 | 芦田　洋介　先生　(高島整形外科　理学療法士) |
| 会場 | こみ整形外科　リハビリテーション室 |
| 参加人数 | 会　員：　　　7名（内当日入会0名）非会員：　　　2名 | 参加費 | 会　員：　1,000円非会員：　3,000円 |
| 助成金使用額 | 　37,912円　　（開催費用　50,912円　　参加費収入　13,000円） |
| 内　容 | 足部の機能解剖からはじまり、主に距骨・距骨下関節を中心とした講義と実技が実施されました。実技では距骨の前方・後方滑り、内転・外転、回内・回外のモビライゼーションに踏まえて、長母趾屈筋の触診とストレッチ法の紹介がありました。また、足部の機能を徒手的に調整することで、歩容変化へのアプローチも紹介されました。後半部分では外反母趾の病態説明とそれに対する理学療法的アプローチについて、外来理学療法で役立つ内容が盛り込まれておりました。　　　　　　　　　　　　　　　　（文責　川崎　洋二） |

大阪臨床整形外科医会療法士会

|  |
| --- |
| 　令和4年度　大阪臨床整形外科医会療法士会 |
| 勉強会・講習会・研修会　事業　　決算報告 |
|  |  | 令和4年度 |  |  |  |  |  |  |
|  | 　事業名 | 第61回勉強会　『足部の機能解剖』～距骨・距骨下関節を中心に～ | 　 |
|  |  | 開催日 | 2022/11/20 |  |  |  |  |
|  |  | 場所 | こみ整形外科 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 収入の部 |
|  | 　 | 予算額（円） | 　 | 決算額（円） |
|  | 　 | 内訳 | 　 | 備考 |
|  | 1.参加費 | 　 | 　 | 1.参加費 | 　 | 　 |
|  | 会員参加費 | 10,000 | 10名（１人1000円） | 会員参加費 | 7,000 | 7名（１人1000円） |
|  | 　 | 非会員参加費 | 15,000 | 5名（１人3000円） | 　 | 非会員参加費 | 6,000 | 2名（１人3000円） |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  | 2.OCOA療法士担当委員会援助金 | 22,706 | 　 | 2.OCOA療法士担当委員会援助金 | 37,912 | 　 |
|  | 合計 | 47,706 | 　 | 合計 | 50,912 | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  | 支出の部 |
|  | 　 | 決算額（円） | 　 | 決算額（円） |
|  | 　 | 備考 | 　 | 備考 |
|  | 1.会場費 | 　 | 　 | 1.会場費 | 　 | 　 |
|  | 2．印刷費  | 　 | 　 | 2．印刷費  | 　 | 　 |
|  | 　 | 資料印刷費 | 3,000 | 　 | 　 | 資料印刷費 | 3,640 | 　 |
|  | 　 | 郵送・案内 | 5,000 | 　 | 　 | 郵送・案内 | 5,000 | 　 |
|  | 3.雑費 | 　 | 10,000 | 事前会議など | 3.雑費 | 　 | 10,000 | 事前会議など |
|  | 　 | 　 | 1,500 | 販売手数料 | 　 | 　 | 1,146 | 販売手数料 |
|  | 3．人件費 | 　 | 　 | 3．人件費 | 　 | 　 |
|  | 講師謝礼金 | 15,000 | 　 | 講師謝礼金 | 15,000 | 　 |
|  | 　 | 源泉所得税 | 1,706 | 　 | 　 | 源泉所得税 | 1,706 | 　 |
|  | 　 | アシスタント | 5,000 | 　 | 　 | アシスタント | 5,000 | 1名 |
|  | 　 | スタッフ料 | 3,000 | 　 | 　 | スタッフ料 | 6,000 | 2名 |
|  | 　 | 交通費 | 3,420 | 　 | 　 | 交通費 | 3,420 | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  | 合計 | 47,626 | 　 | 合計 | 50,912 | 　 |
|  |  |  |  |  | 収入計 | 50,912 | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 支出計 | 50,912 | 円 |  |

**１０、大阪城トライアスロン2022大会の救護所出務の件**

**10/9・大阪　荻野理事**

2021年は中止となりましたが、今年も5月7日8日開催予定でしたが延期となりました。10月9日に開催されました大会はワールドトライアスロン大会とならずに国内選手のみ参加でした。当会に大阪府医師会　及びトライアスロン協会から出務依頼があり、バイク救護所に水沢慶一先生が出務していただきました。

17件の救護所利用　救急搬送は1件（鎖骨骨折）のみでした。

**１１、第4回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会**

**及び整形外科医政協議会執行委員会　10/23・大阪　貴島理事**

日　時：令和4年10月23日（日）11：00～16：00

場　所：ANAクラウンプラザホテル大阪4F「平安の間」

出席者：（24名）（名簿順）

特別出席者：（5名）

欠席者：（1名）

議　題：

【審議事項】

１．令和4年度入会承認及び退会状況について（長谷川）

前回承認後の新入会員が承認された。（20名）

令和4年度の現時点での入会者数は119名（内、女性会員7名）、

退会者数は89名（逝去会員含む）

令和4年10月12日現在　正会員数　　5,597名

名誉会員数　 114名

　　　　　　　　　　　　　計　　　5,711名（内、女性会員104名）

　　　　　　　　　　　　賛助会員　71名

２．令和5年度定時社員総会の開催日について（新井）

　　令和5年5月28日（日）に開催する事が承認された。

３．令和4年度JCOA学術研究課題への対応について（新井）

　　令和4年度JCOA学術研究「検査機器を用いた脊柱側彎症検診の調査、研究　－実施後の学童、学校のアンケート調査を含めた包括的研究」に対して助成が決定していたが、臨床研究倫理審査申請書が未提出のため、取り消すことが承認された。

４．会員資格継続の意思について（橘）

　　当学会の会費が未納の2名の先生に会員資格継続の意思確認の文書を送付する事が承認された。

５．令和10年度実施の第41回JCOA学術集会及び第53回JCOA研修会の開催地区

について（大山）

　　令和10年度実施の第41回JCOA学術集会は中四国ブロック、第53回JCOA研修会は関東ブロックでの開催を予定することが承認された。

６．柔整問題解説の一般向け小冊子の増刷について（北村）

　　会員の先生方より、令和4年度7月に会員に送付した「接骨院ってどんなところ」の追加領布のご要望がある為、医療システム委員会より増刷のための予算措置の要望があった。経理委員会で検討後、次回の理事会での再審議事項となった。

７．二次性骨折予防継続管理料の施設届けについて（金淵）

　　今年度の診療報酬改定で骨粗鬆症学会から提出された二次性骨折予防継続管理料の整形外科での施設届け出率は低く（二次性骨折予防継続管理料3を届出している整形外科医療施設は、近畿厚生局のデーターでは14.8％に留まっている）、この状況が続けば病院が連携先を見つけられない状態となり、自院外来での治療継続や施設届を出している内科への紹介も増える可能性がある。JCOAとしてもその施設届け出率を向上させる施策を講じる必要があり、具体的には

1. グーグルフォームによるJCOA会員へのアンケート調査を行う。

（施設届を出していない理由を調査する目的で行い、本アンケートは社会保険等検討委員会で内容を検討し、実施する）

1. 低い施設届け率やアンケート結果の分析から、JCOA会員へ施設届け勧奨を実施する。

以上の提案が承認された。

８．JCOA災害医療チームの災害時活動におけるJCOA会員の災害に対する意識調査アンケート（案）について（河村）

　　災害医療チーム検討委員会より、今後のJCOA災害医療チームの災害活動の指針の参考とするため、会員の災害に対する意識調査に関するアンケートを実施することが承認された。

　　期間は年内までで、令和4年2月5日開催の第5回JCOA災害医療チーム研修会で報告予定

９．Googleフォームの有料版（JCOA管理）の購入について（鮫島）

　　IT戦略委員会で実施しているアンケート作成などに使用する有料版のグーグルワークスペースの導入が承認された

10．過去メーリングリストのアーカイブ化について（鮫島）

　　承認された。アーカイブ化するメーリングリストの範囲及び具体的な費用についてはIT戦略委員会で検討後、その費用を経理委員会において検討することとされた。

【各種報告事項】

１．令和4年度各種会議等実施状況（奥村）

２．第35回JCOA学術集会（徳島）報告（橘）

　　参加登録者数は804名とコロナ前の学会と比べ半減したが、安定した収支結果となった。

３．令和6年度診療報酬改定及び介護報酬改定要望項目について（新井・寺門）

**【外保連提出分】**

**＜日本臨床整形外科学会＞**

（新） ・伝達麻酔：超音波ガイド下腕神経叢麻酔

　　　 ・伝達麻酔：超音波ガイド下大腿・膝窩麻酔

 ・ロコモ・フレイル指導管理

・エコー下関節内注射（股関節）

（改） ・大関節テーピング

・関節鏡視下靱帯断裂形成術（一期的両靱帯形成加算の増点）

　 ・皮膚欠損用創傷被覆材の適応期間拡大

 ・創傷処理（手の指にかかるもの、筋肉に達しないもの）

 ・消炎鎮痛等処置複数部位加算

（材） ・四肢関節固定帯（弾力包帯）

**＜日本運動器学会＞**

（新） ・骨折観血的整復術（透視下）大腿骨

・体外衝撃波疼痛治療術 （拡散型）

・手術時医療材料安全廃棄料

　　　 ・ギプス包帯固定管理

・小関節テーピング

（改） ・体外衝撃波疼痛治療術 （集束型）の適応拡大

・超音波骨折治療の適応拡大

・腱鞘内注射の増点

 ・トリガーブロック注射と神経ブロックの併算定

（材） ・プラスチックギプス

 ・凝固剤付血液廃液パック

**【内保連提出分】**

**＜日本臨床整形外科学会＞**

・運動器リハビリ：運動量増加機器加算

・有床診地域包括ケア病床加算の新設

・２次性骨折予防継続管理料１：算定施設案件の緩和

・運動器リハビリ：急性増悪の定義の変更

・運動器リハビリ：（Ⅰ）の点数の適正評価

・運動器リハビリ：起算日の変更

**＜日本運動器学会＞**

・２次性骨折予防継続管理料：対象疾患の拡大

・骨粗鬆症指導管理料

 ・再診時他医で撮影したMRI、CT読影料算定

・運動器リハビリ：早期加算を外来手術でも認める

・運動器リハビリ：標準的算定期間除外対象疾患の改正

・運動器リハビリ：施設基準の緩和

**【全国有床診提出分】**

 ・有床診：地域包括ケア病床の新設

 ・有床診：回復期リハ病床の新設

 ・有床診：入院基本料の増額

 ・有床診：医師配置加算３の新設

 ・有床診：医師事務作業補助体制加算

・有床診：２次性骨折予防管理料１の有床診への適応拡大

・有床診：短期滞在手術管理料３の有床診への適応拡大

**【介護保険分】**

・通所リハビリテーション利用時の同時医療実施の許可と送迎の減算の撤廃

・通所リハビリテーション提供体制加算要件の専従から専任への変更

４．JCOA創立50周年記念式典について（新井）

　　第36回JCOA学術集会（千葉：幕張メッセ第1会場）開催期間中の令和5年7月16日（日）17：00～18：10にJCOA創立50周年記念式典が執り行われることが報告された。

５．日本医師会学校保健委員会委員の推薦について（新井）

　　新井貞男理事長の推薦が報告された。

６．日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会委員の推薦について（新井）

新井貞男理事長の推薦が報告された。

７．会員の風水害被害報告（新井）

（１）令和4年8月3日から続いた大雨被害について

（２）台風第14号の被害について

（３）台風第15号に伴う大雨被害について

８．スクールトレーナー制度について（新井）

　　雑誌「ムービング」に、“運動器検診の事後措置、予防教育の充実のため、理学療法士などによるスクールトレーナー制度のモデル事業を推進することが望まれている”という文章が掲載され、今後も注視していく必要があることが報告された。

９．整形外科関連学会の男女共同参画に関するアンケート調査報告（新井）

　　JOA男女共同参画委員会からアンケート依頼があり、提出したことが報告された。

10．発育性股関節形成不全早期発見のための啓発ポスターについて（新井）

　　日本小児整形外科学会検診委員会が作成した発育性股関節形成不全早期発見のための啓発ポスターについて、当学会も賛同したことが報告された。

11．日本整形外科学会の単位申請に関するお願いについて（新井）

　　日整会の教育研修講演の申請演題の中に整形外科と関連性の低く、日整会の領域講習にそぐわない講演が多く含まれていることが判明し、今後の単位申請について注意して頂くようにお願いがあったことが報告された。

12．第70回日本理学療法学会終了報告書について（新井）

13．飯塚オープン2022（Iizuka Open 2022）報告書ついて（新井）

14．令和2年度学術研究　研究報告書及び会計報告について（大山・木内）

15．令和3年度学術研究　研究報告書（1年次）について（大山）

16．第2回JCOADiTブロック実務委員会報告（関東・中部）（令和4年9月1日）

　（河村）

17．令和4年度JCOA保険審査委員会議及び全国整形外科保険審査委員会議報告（令和4年9月10・11日）（金淵）

18．消費税の取扱いに関する訂正について（木内）

　　令和5年10月から始まるインボイス制度の対応について、免税期間は令和5年9月30日まで有効であることが判明したため、JCOA学術集会の収益事業の範囲及び消費税の取り扱いの明確化の適応は、令和6年度実施の第37回JCOA学術集会（熊本）からと訂正になったことが報告された。（JCOA研修会は変更なく、令和5年度実施の第49回JCOA研修会（北海道）から適応）

【各委員会等報告事項】

１．「Q&A交通事故診療ハンドブック」編集WG（令和4年7月24日）（村井）

２．医療安全・倫理委員会（令和4年7月27日、9月28日）（大山）

３．有床診WG（令和4年7月28日）（寺門）

４．経理委員会（令和4年7月30日、10月14日）（木内）

５．社会保険等検討委員会（令和4年7月31日）（金淵）

６．医療システム委員会（令和4年8月31日）（北村）

７．総務（広報・福祉・組織拡大）委員会（令和4年9月9日）（橘）

８．学術委員会（令和4年9月25日）（大山）

９．医業経営委員会（令和4年9月25日）（松原）

10．IT戦略委員会（令和4年10月3日）（鮫島）

【日整会報告事項】

１．JCOAと日整会理事（原田）

**／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／**

整形外科医政協議会執行委員会

出席者：（24名）

【整形外科医政協議会報告事項】

１．寄付金について（新井）

２．各県別加入状況（新井）

３．執行部の動き（新井）

**１２、広島県臨床整形外科医会研修講演会　　11/12・広島　　神藤理事**

資料

**１３、ロコモ健康フォーラム2022　　11/19・大阪　　大成理事、木下副会長**

資料

**１４、研修会実施報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　堀口理事**

**第354回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年9月17日　ハイブリッド開催　現地会場：TKPガーデンシティ東梅田　40名）共催　第一三共　16:00～　参加者数　108名（会員　74名　非会員　34名）、会場　44名（会員34名、非会員10名　事前申込無し　会員4名　非会員7名）　WEB 64名（会員40名、非会員24名）**

講演Ⅰ：「骨卒中予防の現状と課題 ～２次骨折予防の重要性～」座長：清水　広太　先生

演者：鳥取大学医学部　保健学科　教授　萩野　浩（はぎの　ひろし） 先生

N4（代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医　11（予防と保健）、77（骨粗鬆症）

講演Ⅱ：「神経障害性疼痛と腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン2021」座長：越宗　勝　先生

演者：大阪公立大学大学院医学研究科　総合医学教育学・整形外科学　准教授　豊田　宏光（とよだ　ひろみつ） 先生

N1（整形外科基礎科学）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医　60（腰痛）、63（四肢のしびれ）

日本リウマチ学会2単位（講演Ⅰ、Ⅱ　各々1単位）

日本リウマチ財団2単位（講演Ⅰ、Ⅱ　各々1単位）

日本骨粗鬆症学会5単位（講演Ⅰ）

**第355回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年10月22日　ハイブリッド開催　現地会場：ANAクラウンプラザホテル大阪　100名）共催　帝人ヘルスケア　16:00～　参加者数　152名（会員　110名　非会員　42名）、会場　64名（会員49名、非会員15名　事前申込無し 16名　会員5名　非会員11名）　WEB　 90名（会員57名　非会員28名）**

講演Ⅰ：「急性腰背部痛を呈する高齢者の脊椎疾患　ー増加する骨粗鬆症・骨転移を診るー」座長：宮口　正継　先生

演者：社会医療法人　警和会　　大阪警察病院　脊椎・脊髄センター　副部長　　大島　和也（おおしま　かずや） 先生

N4（代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）、5（骨・軟部腫瘍）、SS（脊椎脊髄病医）

日医　59（背部痛）、60（腰痛）

講演Ⅱ：「手のしびれや麻痺を生じる末梢神経や神経根の障害」座長：村上　仁志　先生

演者：関西電力病院　整形外科　主任部長　太田　壮一　（おおた　そういち） 先生

N 7（脊椎・脊髄疾患）、8（神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）、SS（脊椎脊髄病医）

日医　15（臨床問題解決のプロセス）、63（四肢のしびれ）

日本リウマチ学会2単位（講演Ⅰ、Ⅱ　各々1単位）（講演Ⅰ、Ⅱ）：各々1単位

日本リウマチ財団2単位（講演Ⅰ、Ⅱ　各々1単位）（講演Ⅰ、Ⅱ）：各々1単位

日本骨粗鬆症学会5単位（講演Ⅰ）

日本手外科学会1単位（講演Ⅱ）

令和4年10月23日（日）JCOA理事会（大阪）

**第356回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年11月12日　ハイブリッド開催　現地会場：TKPガーデンシティ大阪梅田　50名）共催　久光製薬　16:00～　参加者数　110名（会員　77名　非会員　33名、会場　36名（会員30名、非会員6名　事前申込無し　会員7名　非会員14名）　WEB 74名（会員49名　非会員25名）**

講演Ⅰ：「生物学的骨癒合促進剤が変える近未来の脊椎固定術　-術後1ヵ月での骨癒合獲得・疼痛コントロールを目指して!-」座長：小林　正之　先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学（整形外科）准教授　　海渡　貴司（かいと　たかし） 先生

N 1（整形外科基礎科学）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医　0（最新のトピックス・その他）、60（腰痛）

講演Ⅱ：「Two-incision THAの文化人類学的ミカタとAIの整形外科領域応用」座長：中塚　映政　先生

演者：和歌山県立医科大学整形外科学講座　講師　西山　大介（にしやま　だいすけ） 先生

N 6（リウマチ性疾患、感染症）、11（骨盤・股関節疾患）、R（リウマチ医）

日医　15（臨床問題解決のプロセス）、61（関節痛）

日本リウマチ学会2単位（講演Ⅰ、Ⅱ　各々1単位）

日本骨粗鬆症学会5単位（講演Ⅰ）

**１５、その他　 　　　 　　　 　藤本会長**